

令和8年度入学生用カリキュラムマップ

【教育学科】

【小学校教育コース】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な・複雑化する社会を理解する力	2. “生きながらえる”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢		行動				
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDB1001	初期演習Ⅰ	1	本学で修得すべきことは何かを理解し、自主的に学び新たな発見を導きだせる力を身につけることを目的とする。このため、本学の「立学の精神」および人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」を知り、本学学生としての誇りと自覚を持つ。さらに、MUKOGAWA COMPASSに掲げられた「自ら考え、動く」ための力を培い、女性として有為な社会人となるために、それぞれの学部学科の専門性に基づく知識と社会人基礎力の修得の必要性を理解し、各自のキャリアデザインを自ら構築する。	大学の修学の基礎となる単位制を理解し、適切な履修計画に沿って修学する主体性、考える力を身につけ、人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」と所属学科の3つのポリシーに基づく専門教育の概要を把握し、自らのキャリアデザインを組み立てる力を身につける。また、良識ある社会人となるための社会人基礎力の必要性を理解し、その基盤となる十分なコミュニケーション能力を培い、基本的な社会ルールを理解し、本学学生としての誇りと自覚を身につける。さらに、学習・研究を進める上での倫理の基礎となる情報の取り扱いに関する知識を身につける。	◎		○		○				○
26UEDB1002	初期演習Ⅱ	1	「初期演習Ⅰ」で学んだことを踏まえて、2年次以降の専門領域の学習のための準備として、大学での学び方を演習形式で実践することにより研究のための基礎・基本を身につける。	(1) 教育学・保育学に関する問題について、文献の正確な読み方および課題発見、資料検索、データ収集の方法について理解する。 (2) 収集したデータの分類整理、論理的な言説の展開、説得力のある提示や発表のしかたなどを行うことができる。			○			◎		◎	
26UEDB1003	日本国憲法	1	教職を目指す人の基礎的な素養として、日本国憲法の基本的な理念とその表現である主な条文について理解を深める。	(1) 憲法と法律の違いを説明できる。 (2) 日本国憲法についての基本的知識を持つ。 (3) 社会の諸事象を日本国憲法に照らして考えることができる。	◎		○						
26UEDB1004	英語Ⅰ	1	中学校外国語科（英語）の指導に対応するだけでなく、広く社会で英語が使われることに鑑み、英語の4つの技能（話す、聞く、書く、読む）を有機的に関連づけて、発音や文法も含めた総合的英語運用能力を身につける。	(1) 基礎的な文法事項を再確認して、話したり書いたり読んだりするときに活用できる。 (2) 基礎的な語彙を確認しながら、英文の内容を正しく読み取ることができる。 (3) 日常会話のレベルで英語を聞いて理解し、正しい発音で受け答えができる。	◎					○			
26UEDB1005	英語Ⅱ	1	中学校外国語科（英語）の指導に対応するだけでなく、広く社会で英語が使われることに鑑み、英語の4つの技能（話す、聞く、書く、読む）を有機的に関連づけて、英語の発声のしくみや文法も含めた総合的英語運用能力を高める。	(1) 話したり書いたり読んだりすることを正確な文法で行うことができる。 (2) 語彙を増やししながら、英文の内容を正しく読み取ることができる。 (3) 英語を聞いて理解し、受け答えや自分の意見を述べることができる。	◎					○			

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）									
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きること”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力		
					知識		姿勢			行動				
		1	2	3	4	5	6	7	8					
26UEDB2006	外国語コミュニケーションⅠ	2	「英語Ⅰ・Ⅱ」で身につけた4技能の総合的な力を基礎にして、社会で使えるオーラル・コミュニケーション能力をさらに発展させる。また、多様な題材や教材を用いて、教育現場で使える英語を学習し、幼児・児童英語教育のための実践的英語能力を身につける。	(1) 日常的な話題について英語で会話することができる。 (2) 教室英語の様々な表現を学習する。 (3) 英語の発音、リズムやイントネーションに慣れる。	◎									○
26UEDB2007	外国語コミュニケーションⅡ	2	「英語Ⅰ・Ⅱ」で身につけた4技能の総合的な力を基礎にして、社会で使えるオーラル・コミュニケーション能力をさらに発展させる。また、多様な題材や教材を用いて、教育現場で使える英語を学習し、幼児・児童英語教育のための実践的英語能力を身につける。	(1) 日常的な話題について英語でプレゼンテーションやディスカッションができるようになる。 (2) 教室英語表現を場面に応じて使えるようになる。 (3) 幼児・児童向けの英語の歌を歌ったり、物語を朗読したりできるようになる。	◎									○
26UEDB1008	教育とICT	1	大学教育に適応し、安全で適切な情報活用ができるための基礎的な情報リテラシーを身につける。コンピュータやネットワークの知識、情報モラルの知識と実践力を育成するとともにオフィスソフトの活用をもとにしたレポート作成の基礎的な技能を確実に習得する。さらに、教員・保育士の仕事を援助する道具としてコンピュータを使いこなす能力と、教職に必要な情報教育についての高度な情報処理能力を獲得し、情報化社会に対応した教育を実践できる能力を育成する。	(1) 本学のシステムやオンラインサービスを知り、使いこなすことができる。 (2) 基礎的なコンピュータやネットワークに関する知識、情報モラルに関する知識を持ち、場面に応じて、安全にコンピュータやネットワークを活用することができる。 (3) レポートを作成するために必要なソフトの活用技能を習得し、課題に応じた簡単なレポート作成ができる。 (4) 教育・保育に利用できるマルチメディア技術を習得するとともに、教育・保育現場で必要な情報モラルの基本を身につける。	◎	○					○			
26UEDB1009	体育Ⅰ	1	体育・スポーツについての講義と体験的活動を通して、教育者・保育者に求められる健康と安全についての知識と技能を身につける。	(1) 安全対策の理論的背景について理解する。 (2) 水泳を安全に実践することができる。 (3) 教職に対応できる技能の習熟と安全で効果的な指導法を習得する。	◎									○
26UEDB1010	体育Ⅱ	1	体育・スポーツについての体験的活動と講義を通して、教育者・保育者に求められる健康と安全についての知識と技能を身につける。	(1) 陸上運動とリズムダンスの理論的背景について理解する。 (2) 陸上運動とリズムダンスを安全に実践することができる。	◎									○
26UEDE2001	基礎演習	2	初期演習での学習をふまえて、現代社会における教育に関する課題を主体的に見つけ、それらについて議論、検討し、得られた知見をプレゼンテーションやレポート発表によって表現する力量を形成する。それにより、教員・保育者として必要な、課題を発見し、解決する力、論理的に思考する力、創造的に表現する力を身につける。	(1) 子どもと教育に関して、グループでテーマを設定して調査し、まとめ、プレゼンテーションを行うことができる。 (2) 子どもと教育の問題に関して、データの収集、整理、分析を通して新しい知見を生み出し、それをレポートにまとめることができる。		○		○			○			◎

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）									
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きること”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力		
					知識		姿勢			行動				
1	2	3	4	5	6	7	8							
26UEDE1104	教育社会学	1	教育社会学の観点から、「近代教育」や「学校」の歴史的位置づけを確認した上で、今日における問題や課題を捉え、教員の役割や職務内容の理解を深め、教員として必要な資質・能力を修得する。	(1) 我が国および諸外国における近年の教育事情および教育政策の動向を理解している。 (2) 子どもの生活の変化を踏まえた指導上の課題を理解し、教育現象を歴史的側面や社会的側面を結び付けて捉えられる。 (3) 現在の学校および教育に関する社会的期待や批判等について客観的に考えられる。教員や学校に対する社会的期待を理解し、それに答える方法について考えられる。		○	◎							
26UEDE1105	教育心理学総論	1	幼児、児童および生徒の心身の発達および学習の過程について、基礎的な知識を身につけ、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎を身につける。心理学の代表的な理論を学ぶことで、乳幼児期から青年期の各時期における運動・言語・認知・社会性の発達および発達上の問題のある子どもへの対応に関する知識と技術を獲得し、主体的学習を支える記憶、行動、動機づけ、集団づくり、学習評価のあり方などについて、発達の特徴と関連づけて理解する。	(1) 乳幼児期から青年期の各時期における運動・言語・認知・社会性の発達および発達上の問題のある子どもへの対応に関する知識と技術を獲得している。 (2) 主体的学習を支える記憶、行動、動機づけ、集団づくり、学習評価のあり方などについて、発達の特徴と関連づけて理解している。 (3) 教育における心理学の意義を理解し、具体的な問題解決を志向する態度を身につけている。		◎	○							
26UEDE1106	発達心理学	1	教育・保育に関わる心理学の基礎的知識を習得し、子どもの発達と学習の過程への理解を深める。生涯発達の過程とともにその発達が人との相互的関わりを通してなされていくことを理解する。また、子どもの学習の過程に関する基礎的知識を身につけ、主体的な学習を支える基礎を身につける。	(1) 重要な発達理論を説明することができる。 (2) 各発達時期の特徴と課題とを述べることができる。 (3) 発達と学習の理論を踏まえて、子どもの主体的な学習活動を支える指導のあり方を考えることができる。		◎	○							
26UEDE3107	教育史	3	教育の歴史は、社会・文化の歴史と同様に人類の起源にまでさかのぼることができる。その中で近代以降の教育は、子どもの教育として自立し、学校という場を中心に固有の任務を担うようになり、教育思想に導かれるようになった。本授業科目では、現代の教育について省察し、未来の教育を展望することを視野に入れながら、教育思想史の見方を中心に教育の歴史について考える。	(1) 教育についての考え方の歴史の変遷を、時代背景や社会構造の変化と照らし合わせながら説明できる。 (2) 近代学校の特徴と歴史について、適切な概念の用語を用いて解説することができる。 (3) 教育・教育学の理論的基盤がどのような思想によって形成されたかを理解し、教育史上で重要な教育思想家の思想の特徴を説明することができる。		◎								
26UEDE3108	教育哲学	3	「教育哲学」を組み入れる歴史的社会的文脈を学ぶ。さらに「子どもの発達」や「子どもへの教育」を、大人や老人を含めた「ライフサイクル」の全体、そしてライフサイクルの各段階での異なった世代どうしの「相互生成」から見直すことによって、「教育」を根本から考え直す。	(1) 「教育哲学」を組み入れる歴史的社会的文脈を理解する。 (2) さらに「子どもの発達」や「子どもへの教育」を、大人や老人を含めた「ライフサイクル」の全体、そしてライフサイクルの各段階での異なった世代どうしの「相互生成」から見直すことによって、「教育」を根本から考えることができる。		◎	○		○					

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きながらえること”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢		行動				
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDE2109	教育行政学	2	教育・保育実践のために必要な基礎的素養として、教育行政の全般について基礎を理解する。その中では、一般行政と教育行政の違い、我が国の教育行政の仕組みとその基礎となる考え方、文部科学行政の権限とその範囲、地方教育行政を支える教育委員会の権限とその範囲、学校教育を支える施設・設備・教職員・教育内容・教科書等に関する行政の実際、学校以外で行われる生涯学習をめぐる行政の仕組みなどについて学ぶことを通して、教育・保育を担うための基礎的知識を身につける。さらに、学校と地域との連携に関する理解および学校安全への対応に関する基礎的知識も身につける。	(1) 公教育の原理および理念を理解している。 (2) 公教育制度を構成している教育関係法規を理解している。 (3) 教育制度を支える教育行政の理念と仕組みを理解している。 (4) 公教育の目的を実現するための学校経営の望むべき姿を理解している。 (5) 学校における教育活動の年間の流れと学校評価の基礎理論を含めたPDCAの重要性を理解している。 (6) 学級経営の仕組みと効果的な方法を理解している。 (7) 学校と地域との連携の意義や地域との協働の仕方について、取り組み事例を踏まえて理解している。 (8) 学校の管理下で起こる事件、事故および災害の実情を踏まえて、学校保健安全法に基づく、危機管理を含む学校安全の目的と具体的な取組を理解している。		◎	○						
26UEDE1201	共生社会論	1	多様な個人や社会集団がお互いを認め、尊重し合い、協働することにより、社会的諸課題を解決し、共生社会を構築するための理論と方法論を、諸外国や日本のこれまでの事例を参照しつつ学ぶ。共生社会の実現のためには、ジェンダー、民族、宗教、文化、障がいなどによる社会的排除を克服し、人々のインクルーシブで相互に寛容な関係性を築くことが必要であり、共生の価値観を共有することが不可欠である。授業では、そうした価値観の共有をどのように展望すればよいのかについてともに考える。	(1) 多様な他の個人や集団が相互に認め、尊重し合い、協働することにより、社会的諸課題を解決し、共生社会を構築するための理論と方法論について理解し、説明できる、および自分の考えを述べることができる。 (2) ジェンダー、民族、宗教、文化、障がいに関連する諸問題について理解し、説明できる、および自分の考えを述べることができる。			◎					○	
26UEDE1202	子ども家庭福祉	1	子どもとその家族の社会的背景やその変遷を学び、子どもの権利、関連する児童福祉の理念および知識の理解を深める。また、現代社会における子どもやその家庭に関わる課題についての理解を深め、子どもと家族への支援のあり方を考える。	(1) 現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷について理解する。 (2) 子どもの人権擁護について理解する。 (3) 子ども家庭福祉の制度や実施体系等について理解する。 (4) 子ども家庭福祉の現状と課題について理解する。 (5) 子ども家庭福祉の動向と展望について理解する。	○		◎		○				
26UEDE1203	国際教育論	1	世界で見られる様々な教育問題と日本の関わりについて学ぶ。特に、発展途上国における教育開発に対する国際教育協力と日本国内での国際教育協力、および学生による海外ボランティア活動が含まれる。	(1) 国際教育協力の理論を理解することができる。 (2) 国際教育協力における課題を様々な角度から把握し、その解決方法を考えることができる。 (3) 設定したテーマについて主体的に調査し、分析、発表することができる。		○	◎						○
26UEDE1204	社会調査法	1	教育に関する様々な情報を活用してそこから有用な情報を読み解くために、記述統計と初歩的な推測統計の技法を身につける。	(1) 社会事象、とりわけ教育に関する様々なデータを読み解くことができる。 (2) 社会事象、とりわけ教育に関するデータを収集し、わかりやすく表現することができる。 (3) 初歩的な推測統計を用いて、社会事象、とりわけ教育に関するデータを分析できる。							◎		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）															
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目															
					1. 多様な文化・複雑化する社会を理解する力		2. “生き残る”に専らつながる専門性		3. 自他を尊重する姿勢		4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢		5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢		6. 論理的に考え伝える力		7. 新たな価値を創造する力		8. 多様な人々と協働する力	
					知識				姿勢				行動							
1		2		3		4		5		6		7		8						
26UEDE2205	人権教育と福祉	2	現代社会の諸課題についての探究的活動を通して、初等教育に携わる教員としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 現代社会の諸課題に基づいた授業計画と立案することができる。 (2) 学習した内容を踏まえて、自分の意見を持つとともに、各自で工夫した活動を行うことができる。 (3) 小学校社会科における授業内容を通して、エネルギーや環境問題、貧困問題といった社会問題への関心を高めることができる。	○		◎													
26UEDE2206	異文化理解とコミュニケーション	2	小学校・幼稚園の教員として、地域や職場のグローバル化に対応し、様々な文化背景や価値観を持つ人々と良好なコミュニケーションを行うことのできる能力を養成する。外国にルーツのある子どもたちを支援する団体・小学校で実際に子どもたちを支援することにより現場での課題について学ぶ。	(1) 文化の違いによる言語・非言語コミュニケーションスタイルの多様性を理解している。 (2) 文化背景や価値観の異なる人々の考えに敬意を持って耳を傾けるとともに、自分の考えもきちんと主張できる技術を身につけている。 (3) 外国にルーツのある子どもたちの状況について概要を知った上で、学習支援等を行う中で異文化コミュニケーションの課題を見出し、解決へ向けて取り組むことができる。		○	◎			○			○							
26UEDE2207	海外教育交流実践	2	教育学科アメリカ分校プログラムに参加する学生が、国際的な教育交流を自ら構成し、実践する。	(1) 国際的な教育交流の意義を理解し、説明できる。 (2) 日米の教育や子どもたちの違いを学び、想像し、考えることができる。 (3) これらを踏まえて国際的な教育交流を構成し、実践する。				◎	○					○						
26UEDE2208	海外教育参加実習指導	2	アメリカの教育現場を観察するために必要な視点を学び、コミュニケーション能力を身につける。	(1) 留学に対する確たる目的意識を持つ。 (2) アメリカの教育現場を観察するための視点を持つ。				◎						○						
26UEDE2209	海外教育参加実習	2	アメリカの教育現場を観察することによって、アメリカの教育制度、学校教育、教育文化を学ぶ。	(1) アメリカの教育の特徴を説明できる。 (2) 日米の教育を比較し、日本の教育について意見を持つ。 (3) アメリカの幼児・児童と英語でコミュニケーションがとれる。				◎						○						
26UEDE2210	教育フィールドワーク	2	教育学の理論と教育現場等の実践知を関連させながら、教育現場等の活動を客観的に捉える基本的な能力を身につける。	(1) 専門教育科目の講義や演習で学んだ知識を踏まえて、教育現場の状況を解釈できる。 (2) 教育現場の観察と体験的活動を踏まえて、自身の課題を設定することができる。					○			◎		○						
26UEDE3211	異文化間教育	3	教育・保育の実践のための基礎的な素養として、主として外国で行われる教育や国境や文化をまたいで学ぶ子どもたちに目を向け、異文化間教育の基本的な考え方やその実際について学ぶ。その中で、世界の主要国における社会の形成過程や現状について知り、そこで行われる学校教育がどのような社会の現実に対応し、課題に取り組んできたのかを知る。	(1) 世界の国・地域で、それぞれの社会や文化を背景として形作られる教育の現状と課題を理解することができる。 (2) 国境や文化を超えて学ぶ子どもたちについて知り、必要な支援について考え、説明することができる。 (3) 設定したテーマについて主体的に調査し、分析、発表することができる。		○	◎		○					○						

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）							
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目							
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生き残る”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力
					知識		姿勢			行動		
1	2	3	4	5	6	7	8					
26UEDE2301	教育課程論	2	教育課程の意義・編成・実施・評価について知識と理解を得ることにより、教職を担うために必要とされる基礎的な素養を養う。また、教育課程の基準として定められている学習指導要領の変遷や、現行学習指導要領の特徴について学ぶとともに、各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。	(1) 現代日本の学校における教育課程について、それを支える考え方や法制、実際の編成・実施・評価の方法を、歴史と国際比較の二つの視点から説明できる。 (2) カリキュラムおよび教育課程という概念の成立と発展について理解している。 (3) 我が国の教育課程をめぐる制度について歴史的に概観できる。 (4) 現在の教育課程の基準（学習指導要領など）とそれに基づくカリキュラム・マネジメントの意義や重要性を理解している。 (5) カリキュラム評価の基礎的な考え方を理解している。		◎				○		
26UEDE2302	道徳教育の理論と実践	2	道徳教育と「特別の教科道徳」の重要性と特質を理解し、社会的課題や子どもたちの課題に向き合いながら、主体的・創造的に取り組むことができる力量を身につける。	(1) 我が国における道徳教育の改革動向について、基礎的知識を有している。 (2) 「特別の教科道徳」の基本理念を理解し、小学校における道徳の授業方法について、他の活動領域と関連づけながら具体的に計画し、実践できる力を身につける。		○	◎		○			
26UEDE2303	総合的な学習の時間の指導法	2	総合的な学習の時間における横断的・総合的な学習や児童の興味・関心等に基づく学習など創意工夫を生かした教育活動の展開に必要な基礎的知識を学習し、総合的な学習の展開に必要な資質を身につける。	(1) 総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標および内容を定める際の考え方を理解している。 (2) 総合的な学習の時間の指導計画を立案することができる。 (3) 各教科等との関連性を図りながら総合的な学習の時間の年間指導計画を作成することの重要性を理解している。 (4) PBLの進め方を理解し、主体的・対話的で深い学びを実現するような、総合的な学習の時間の単元構成ができる。 (5) 総合的な学習の時間の指導と評価の考え方および実践上の留意点を理解している。		◎						◎
26UEDE2304	特別活動の指導法	2	学習指導要領に示された「特別活動」について、内容や、その趣旨、指導法について理解する。	(1) 学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事といった特別活動の各分野の意味づけを理解する。 (2) 実際の指導にどう生かしていくか、具体的に探究することができる。		◎	○		○			

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きること”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢			行動			
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDE3305	生徒指導・進路指導の理論と実践	3	<p>1. 児童生徒の「生きる」力の育成を視点として、教員として必要とするこれからの学校における生徒指導・進路指導実践の理論と具体的な実践のあり方を学ぶ。</p> <p>2. 他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技術や素養を身につけるとともに、進路指導・キャリア教育の視点に立った授業改善や体験活動、評価改善の推進やガイダンスとカウンセリングの充実、それに向けた学校内外の組織的体制に必要な知識や素養を身につける。</p>	<p>(1) 生徒指導の意義や原理を理解している。</p> <p>(2) すべての児童生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方を理解している。</p> <p>(3) 児童生徒の抱える主な生徒指導上の課題の様態と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応のあり方を理解している。</p> <p>(4) 進路指導・キャリア教育の意義や原理を理解している。</p> <p>(5) すべての児童生徒を対象とした進路指導・キャリア教育の考え方と指導のあり方を理解している。</p> <p>(6) 児童生徒が抱える個別の進路指導・キャリア教育上の課題に向き合う指導の考え方とあり方を理解している。</p>		○	◎		○				
26UEDE3306	教育相談の理論と実践	3	<p>子どもの発達に関する心理学知識をもとに、幼児児童生徒の発達の状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的知識（カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む）および技術を身につける。</p>	<p>(1) 学校園における教育相談の意義とそれに関わる心理学の基礎的な理論・概念を理解している。</p> <p>(2) 教育相談を進める際に必要な基礎的知識（カウンセリングに関する基礎的事柄を含む）を理解している。</p> <p>(3) 教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取組みや連携の必要性を理解している。</p> <p>(4) いじめ、不登校・不登園、虐待、非行等の課題に対する、幼児、児童および生徒の発達段階や発達課題に応じた教育相談の進め方を理解している。</p> <p>(5) 教育相談の計画の作成や必要な校内体制の整備など、組織的な取組みの必要性および地域の医療・福祉・心理等の専門機関との連携の意義や必要性を理解している。</p>		○	○		◎				

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）							
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目							
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生き残る”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力
					知識		姿勢		行動			
1	2	3	4	5	6	7	8					
26UEDE2307	教育方法の理論と実践	2	1. これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法および教育の技術に関する基礎的な知識・技能を身につける。 2. 情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進のあり方および児童生徒に情報活用能力を育成するための指導法に関する基礎的な知識・技能を身につける。	(1) 授業設計や学習評価の基礎的な考え方を含む、教育方法の基礎的な理論と実践を理解し、これからの子どもたちに求められる資質・能力の育成に資する教育方法や、授業や保育を構成する基礎的な要件について理解している。 (2) 基本的な授業技術を習得し、学習指導案を作成することができる。 (3) 個別最適な学び、協働的な学びの実現や主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の観点および特別支援の観点から、学校教育におけるICTの活用意義とあり方を理解する。 (4) 情報機器の操作スキルを含む教科等横断的な情報活用能力の育成や、各教科等の指導におけるICT活用についての理論と方法を身につける。 (5) 教育データを活用した学習指導や学習評価、遠隔・オンライン教育についての理論と方法およびそれらに必要な機器操作を身につける。 (6) 校務におけるICTの活用や、学校教育におけるICTの活用を支える環境整備、外部人材・外部機関との連携、教育情報セキュリティの重要性について理解する。		◎			○	○		
26UEDE4308	学級経営論	4	小・中学校教育における学級担任の役割と仕事の理解を通して、教員としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 学級担任の役割について理解する。 (2) 学級の運営計画を立案することができる。		◎	○		○			
26UEDE1309	特別支援教育総論	1	特別支援教育の実践に必要な基礎として、障害のある子どもの心身の発達、およびその発達に即した教育の必要性と手法について学ぶ。	(1) 障害のある子どもの心身の発達を知る。 (2) 特別支援教育の実践に必要な基礎を学ぶ。 (3) 障害のある子どもに即した教育の必要性と手法を学ぶ。		○	◎		○			
26UEDE3310	発達障害等教育総論	3	学習障害（LD）、注意欠如・多動症（ADHD）、自閉症スペクトラム障害（ASD）、軽度知的障害、言語障害、情緒障害、重複障害について理解し、その指導について学ぶ。	(1) 学習障害（LD）、注意欠如・多動症（ADHD）、自閉症スペクトラム障害（ASD）、軽度知的障害、言語障害、情緒障害、重複障害について理解する。 (2) 上記の障害がある子どもへの指導について学ぶ。		◎	○		○			
26UEDE3311	データリテラシーと教育	3	データを読み解き、そこからの有用な情報を取り出す能力は、情報技術が高度に発達し、グローバル化した現代社会では、必須ともいえる素養である。データ分析の有効性と留意点を踏まえた上で、教員として、自らデータを構成し、そこから豊かな知見を適切に導く知識を、コンピュータを用いて実践的に学ぶ。	(1) 教員として、教育におけるデータを目的に応じて収集、分析、活用する力を身につける。 (2) 学習指導や授業設計など、教育活動にAIやデータを活用する力を身につける。		○				◎		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）															
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目															
					1. 多様な社会を理解する力		2. “生きながらえること”につながる専門性		3. 自他を尊重する姿勢		4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢		5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢		6. 論理的に考え伝える力		7. 新たな価値を創造する力		8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢		行動											
1		2		3		4		5		6		7		8						
26UEDE1416	外国語科内容論	1	小学校における外国語活動・外国語科の授業実践に必要な実践的な英語運用力と、英語に関する背景的な知識を身につける。	(1) 日本における小学校外国語教育の意義や現状を理解している。 (2) 小学校における外国語活動・外国語の授業を担当するために必要な実践的な英語運用力が身につけている。 (3) 小・中学校の接続も踏まえながら、小学校における外国語活動・外国語の授業を担当するために必要な背景的な知識が身につけている。		◎	○													
26UEDE1407	社会科内容論	1	社会科教育の内容の理解と時事問題の探究的活動を通して、初等教育に携わる教員としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 社会科の学習内容について理解する。 (2) 時事問題について基礎的な解説ができる。	○	◎														
26UEDE2408	理科内容論	2	小学校理科における領域「A物質・エネルギー」および「B生命・地球」の理論的内容の理解と実験等の体験的活動を通して、初等教育に携わる教員としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 「A物質・エネルギー」および「B生命・地球」領域の教材について理解する。 (2) 「A物質・エネルギー」および「B生命・地球」領域の実験や観察を行うことができる。		◎				○										
26UEDE2409	生活科内容論	2	「体験」の意義の理解と生活科学習の探究的活動を通して、初等教育に携わる教員としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 生活科の学習内容について理解する。 (2) 生活科の教材研究を行うことができる。		◎				○										
26UEDE2410	音楽科内容論	2	ソルフェージュ（リズム・音程関連）と音楽理論（楽典）の理解と歌唱の基礎的な技術や表現方法の練習を通して、初等教育に携わる教員・保育者としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 基礎的なソルフェージュと音楽理論の知識を理解する。 (2) 基本的な発声を行うことができる。 (3) 基本的な譜読ができる。		◎							○							
26UEDE2411	図画工作科内容論	2	児童・幼児の発達段階と造形表現の関連についての理解と造形表現の体験的活動を通して、初等教育に携わる教員・保育者としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 制作の道具の使用法や材料の特性について理解する。 (2) 課題制作において、テーマに沿った効果的な自己表現をすることができる。		◎							○							
26UEDE2412	家庭科内容論	2	家庭科教育の内容の理解と自己の生活の反省的活動を通して、初等教育に携わる教員としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 家庭科の教育・学習内容について理解する。 (2) 自分の家庭生活を見直し、問題点を改善することができる。		◎				○										
26UEDE2413	体育科内容論	2	運動の特性の理解と各種運動の体験的活動を通して、初等教育に携わる教員としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 各種運動の特性を理解している。 (2) 体育科の教材研究を行うことができる。		◎				○										

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きながらえること”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢		行動				
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDE3414	国語科教育法	3	小学校国語科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における小学校国語科の目標、内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校国語科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して授業改善の視点を身につけている。		◎				○			◎
26UEDE3415	算数科教育法	3	小学校算数科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における小学校算数科の目標・内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校算数科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。		◎				○			◎
26UEDE2416	外国語科教育法	2	小学校における外国語活動（中学年）・外国語（高学年）の教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における外国語活動および外国語科の目標・内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童期の第二言語習得の特徴について理解し、実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校における外国語活動および外国語科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。		◎				○			◎

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）									
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きつながる” 専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力		
					知識		姿勢			行動				
1	2	3	4	5	6	7	8							
26UEDE3417	社会科学教育法	3	小学校社会科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における小学校社会科の目標・内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校社会科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。		◎					○			◎
26UEDE3418	理科教育法	3	小学校理科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における小学校理科の目標・内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校理科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。		◎					○			◎
26UEDE3419	生活科教育法	3	小学校生活科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における小学校生活科の目標・内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校生活科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。		◎					○			◎

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きつながる” 専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢			行動			
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDE2420	音楽科教育法	2	小学校音楽科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における小学校音楽科の目標・内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校音楽科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。		◎				○			◎
26UEDE2421	図画工作科教育法	2	小学校図画工作科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における小学校図画工作科の目標・内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校図画工作科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。		◎				○		◎	
26UEDE2422	家庭科教育法	2	小学校家庭科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における小学校家庭科の目標・内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校家庭科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。		◎				○		◎	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目				○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目				
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きながら学ぶ”の姿勢	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢		行動				
26UEDE3423	体育科教育法	3	小学校体育科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における小学校体育科の目標・内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校体育科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。		◎				○			◎
26UEDE3424	国語科授業研究	3	小学校国語科における実践的な授業場면을想定し、教育現場で活用できる授業方法を身につける。	(1) 学習指導要領に示された項目を実践的な授業と結びつけて考えることができる。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、実践的な教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を授業設計に結びつけて実行できる。 (4) 小学校国語科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 模擬授業を通して、児童とのやりとりの意味を反省的に捉えて改善に結びつけることができる。		◎		○		○			
26UEDE3425	算数科授業研究	3	小学校算数科における実践的な授業場면을想定し、教育現場で活用できる授業方法を身につける。	(1) 学習指導要領に示された項目を実践的な授業と結びつけて考えることができる。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、実践的な教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を授業設計に結びつけて実行できる。 (4) 小学校算数科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 模擬授業を通して、児童とのやりとりの意味を反省的に捉えて改善に結びつけることができる。		◎		○		○			
26UEDE3426	外国語科授業研究	3	小学校外国語科における実践的な授業場면을想定し、教育現場で活用できる授業方法を身につける。	(1) 学習指導要領に示された項目を実践的な授業と結びつけて考えることができる。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、実践的な教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を授業設計に結びつけて実行できる。 (4) 小学校外国語科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 模擬授業を通して、児童とのやりとりの意味を反省的に捉えて改善に結びつけることができる。		◎		○		○			

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）							
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目							
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きながら学ぶ”の姿勢	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力
					知識		姿勢			行動		
1	2	3	4	5	6	7	8					
26UEDE3427	社会科授業研究	3	小学校国語科における実践的な授業場面を想定し、教育現場で活用できる授業方法を身につける。	(1) 学習指導要領に示された項目を実践的な授業と結びつけて考えることができる。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、実践的な教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を授業設計に結びつけて実行できる。 (4) 小学校国語科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 模擬授業を通して、児童とのやりとりの意味を反省的に捉えて改善に結びつけることができる。		◎		○		○		
26UEDE3428	理科授業研究	3	小学校理科における実践的な授業場面を想定し、教育現場で活用できる授業方法を身につける。	(1) 学習指導要領に示された項目を実践的な授業と結びつけて考えることができる。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、実践的な教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を授業設計に結びつけて実行できる。 (4) 小学校理科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 模擬授業を通して、児童とのやりとりの意味を反省的に捉えて改善に結びつけることができる。		◎		○		○		
26UEDE3429	生活科授業研究	3	小学校生活科における実践的な授業場面を想定し、教育現場で活用できる授業方法を身につける。	(1) 学習指導要領に示された項目を実践的な授業と結びつけて考えることができる。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、実践的な教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を授業設計に結びつけて実行できる。 (4) 小学校生活科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 模擬授業を通して、児童とのやりとりの意味を反省的に捉えて改善に結びつけることができる。		◎		○		○		
26UEDE3430	音楽科授業研究	3	小学校音楽科における実践的な授業場面を想定し、教育現場で活用できる授業方法を身につける。	(1) 学習指導要領に示された項目を実践的な授業と結びつけて考えることができる。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、実践的な教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を授業設計に結びつけて実行できる。 (4) 小学校音楽科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 模擬授業を通して、児童とのやりとりの意味を反省的に捉えて改善に結びつけることができる。		◎		○		○		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きながらえること”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢			行動			
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDE3431	図画工作科授業研究	3	小学校図画工作科における実践的な授業場면을想定し、教育現場で活用できる授業方法を身につける。	(1) 学習指導要領に示された項目を実践的な授業と結びつけて考えることができる。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、実践的な教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を授業設計に結びつけて実行できる。 (4) 小学校図画工作科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 模擬授業を通して、児童とのやりとりの意味を反省的に捉えて改善に結びつけることができる。		◎		○		○			
26UEDE3432	家庭科授業研究	3	小学校家庭科における実践的な授業場면을想定し、教育現場で活用できる授業方法を身につける。	(1) 学習指導要領に示された項目を実践的な授業と結びつけて考えることができる。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、実践的な教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を授業設計に結びつけて実行できる。 (4) 小学校家庭科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 模擬授業を通して、児童とのやりとりの意味を反省的に捉えて改善に結びつけることができる。		◎		○		○			
26UEDE3433	体育科授業研究	3	小学校体育科における実践的な授業場면을想定し、教育現場で活用できる授業方法を身につける。	(1) 学習指導要領に示された項目を実践的な授業と結びつけて考えることができる。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、実践的な教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を授業設計に結びつけて実行できる。 (4) 小学校体育科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 模擬授業を通して、児童とのやりとりの意味を反省的に捉えて改善に結びつけることができる。		◎		○		○			
26UEDE2501	Conversation	2	The primary aim of the course is to develop students' fluency and confidence in using functional oral language for daily interaction in an English-speaking country, including acquiring skills and knowledge for teaching English at school.	This class is designed to get students to feel more comfortable with using spoken English in a variety of situations. Students are expected to talk with other students in English, give presentations, and perform basic conversations.	◎			○					
26UEDE2502	Reading	2	The aim of this course is to improve general reading and vocabulary skills.	The goals of the Reading class are to learn to read extensively, to develop strategies for reading intensively, to learn literary terms for discussing texts, and to develop critical thinking skills.	◎								
26UEDE2503	Writing	2	The aim of this course is to improve general writing skills and grammar correction skills.	The goals of the Writing class are to develop writing fluency, English grammar and to learn the proper form and organization of good English paragraphs.	○					◎			

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生き残る”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
知識		姿勢			行動								
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDE2504	MUSC Fieldwork	2	<p>In the field of “education,” there are different circumstances in different nations, ethnic groups, cultures, and societies. The purpose of this course is to compare Japanese education with education in other countries, to consider how to improve education, and to explore the essence of education.</p> <p>The purpose of this project is to explore the essence of education by comparing education in Japan with education overseas. Through researching and supporting exchange activities between Japanese and foreign children in various places, such as kindergartens, elementary schools, and junior high schools, we will investigate the nature of education in Japan.</p> <p>The purpose of this course is to study the practical activities of international education by investigating and supporting exchange activities between Japanese and foreign children in kindergartens, elementary schools, junior high schools, and other places.</p>	<p>(1) To learn how to increase children’s understanding of different cultures and their sense of friendship through actual international exchange. (2) Learn how to utilize various resources necessary for exchange. (3) To learn how to cooperate with organizations involved in international exchange in each region.</p>			○		○		◎		
26UEDE2505	M u s i c	2	<ul style="list-style-type: none"> ●To learn about, as well as hear and experience, the various styles and genres of American Music throughout American history. ●To practice and learn several choral anthems which are performed at the end of the semester, at the Awards Ceremony. 	<p>(1) Recognize styles of American Music (2) Perform choral numbers (3) Read musical notation</p>							○	◎	
26UEDE2506	Classroom English	2	<p>In this class, students learn the principles of language learning and identify the characteristics of successful language learners. Students also design and present language learning activities for children.</p>	<p>(1) To understand the significance and current status of elementary school foreign language education in Japan. (2) To acquire the practical English language skills necessary for teaching foreign language activities and classes in elementary schools. (3) To acquire the background knowledge necessary to teach foreign language classes in elementary schools, taking into consideration the connection between elementary and junior high schools.</p>		◎							○
26UEDE2507	Multicultural Communication	2	<p>As elementary and kindergarten teachers, the objective of this course is to develop the ability to communicate well with people of various cultural backgrounds and values in response to the globalization of the community and workplace.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●Deepen understanding of intercultural communication ●Discuss ideas and observations about American culture ●Speak to other Spokane area students 			◎			○			

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きつなげる専門性”に尊重する姿勢	3. 自他を恐れず挑戦する姿勢	4. 失敗を恐れない姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢			行動			
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDE2508	A r t	2	To develop knowledge, skills, and expression techniques related to teaching artistic expression to young children, focusing on children’s development, creativity, and sensory awareness. It aims to help educators enrich children’s artistic play and create supportive environments.	Understand children’s artistic expression and their developmental stages. Develop sensory awareness and foundational skills in artistic expression, supporting children’s creativity.				○				◎	
26UEDE3601	教育実習事前事後指導I (小)	3	小学校教育に関わる実践的な知識と教育実習の意義の理解を通して、教員としての自覚を持ち、実践的指導力の基礎を養う。「教育実習I (小)」に向けて、教育実習を行う上で必要となる学校教育全般にわたる基本的理解を図る。教育実習の意義、実習生としての望ましい態度・技能を修得し、教育者としての自覚を高める。教育実習を振り返り、教職への認識を確かなものとする。	(1) 小学校教育に関わる教員の活動と、教育実習の意義について理解する。 (2) 理論の理解を通して得た様々な情報を踏まえて、自身の課題を設定することができる。 (3) 学校教育全般に関する基本的な知識を理解する。 (4) 教職と自己に対する認識を深める。 (5) 小学校教員としての自覚を高め、態度・技能を修得する。		◎		○	◎			○	
26UEDE3602	教育実習I (小)	3	小学校教育に関わる体験的活動を通して、教員としての自覚を持ち、実践的指導力の基礎を養う。教育実習は教職課程の総括的、実践的意義を持つ教育経験の場である。講義を通して得た専門的知識を生かし、実習に取り組むことにより、教育者としての資質の向上を図る。	(1) 小学校教育に関わる教員の活動について理解する。 (2) 授業およびその他の活動中に、現職教員の援助を受けながら、適切に子どもを指導することができる。 (3) 実践を通して得た様々な情報を踏まえて、自身の課題を設定することができる。 (4) 小学校教員を目指すものとして必要な、知識・技能、意欲・態度、問題解決能力等の指導力を身につける。		◎		○	◎			○	
26UEDE4603	教職実践演習	4	立学の精神に立脚した教職実践力を支える人格を陶冶する。また、教職課程科目の全履修履歴や様々な学外活動とその振り返りを通して、教員として必要な資質能力が実践力としてどの程度有機的に統合され形成されているかを最終的に確認する。さらに、実践的課題を把握し改善に努める意識を高め、主体的に探求する力量を形成する。	(1) 教員としての実践力について、これまでの修得状況を総合的に自己診断し、自らの実践的課題を把握し、その実践的課題を自覚している。 (2) 教員としての使命感・責任感・教育的愛情を具体的に修得している。 (3) 教員および社会人として、具体的実践場面での社会性・対人関係能力を発揮できる。 (4) 教員として児童・生徒を人間的に理解し、その理解に基づく生徒指導力と学級経営力を具体的に構想し、実践できる。 (5) 教科を教授するに足る教科専門学力を確実に修得し、この教科専門学力に基づく当該教科内容を授業やその他の教育場面において適切に指導できる。		◎		◎	○			○	
26UEDE1701	保育内容総論	1	幼稚園教育は園生活全体を通して総合的に指導するという指導の考え方を理解し、具体的な幼児の姿と関連づけながら、環境を構成し実践するために必要な知識・技能を身につける。	(1) 幼稚園教育の基本を踏まえた幼稚園における指導の考え方を理解している。 (2) 幼稚園教育における指導計画の考え方を理解し、幼児の発達過程を見通した指導計画作成を理解する。 (3) 幼児の興味や関心や発達の実情などに応じた具体的な指導のあり方を理解する。	◎								

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きること”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
知識		姿勢			行動								
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDE4702	子どもと健康	4	領域「健康」の指導に関する、幼児の心身の発達、基本的な生活習慣、安全な生活、運動発達などの専門的事項についての知識を身につける。	(1) 幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解している。 (2) 幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解している。 (3) 安全な生活と怪我や病気の予防を理解している。 (4) 幼児期の運動発達の特徴と意義を理解している。		◎							
26UEDE3703	子どもと環境	3	領域「環境」の指導に関する、幼児を取り巻く環境や、幼児と環境の関わりについての専門的事項における感性を養い、知識・技能を身につける。	(1) 幼児を取り巻く環境と、幼児の発達にとっての意義を理解している。 (2) 幼児の身近な環境との関わりにおける思考・科学的概念の発達を理解している。 (3) 幼児期の標識・文字等、情報・施設との関わりを発達を理解している。		◎							
26UEDE3704	子どもと人間関係	3	領域「人間関係」の指導の基盤となる、幼児の人と関わる力の育ちに関する専門的事項についての知識を身につける。	(1) 幼児を取り巻く人間関係をめぐる現代的課題を理解する。 (2) 幼児期の人間関係の発達について、幼稚園生活における関係発達論的視点から理解する。		◎	○						○
26UEDE4705	子どもと言葉	4	領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身につけ、想像する楽しさを広げるために必要な専門的事項に関する知識を身につける。	(1) 人間にとっての言葉の意義や機能を理解している。 (2) 言葉に対する感覚を豊かにする実践について理解している。 (3) 幼児にとっての児童文化財の意義を理解している。		◎				○			
26UEDE4706	子どもと音楽表現	4	弾き歌いの体験的・探究的活動を通して、幼児教育に携わる教員・保育者としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 童謡や唱歌の弾き歌いおよび伴奏をすることができる。 (2) 学習した内容を踏まえて、自分の意見を持つとともに、各自で工夫した活動を行うことができる。		◎		○				○	○
26UEDE3707	子どもと造形表現	3	領域「表現」の指導に関する、幼児の表現の姿やその発達およびそれを促す要因、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などの専門的事項についての知識・技能、表現力を身につける。	(1) 幼児の表現の姿や、その発達を理解している。 (2) 造形表現などの様々な表現の基礎的な知識・技能を学ぶことを通し、幼児の表現を支えるための感性を豊かにする。		◎		○				○	○
26UEDE4708	子どもと身体表現	4	領域「表現」の指導に関する、幼児の表現の姿やその発達およびそれを促す要因、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などの専門的事項についての知識・技能、表現力を身につける。	(1) 幼児の表現の姿や、その発達を理解している。 (2) 身体表現などの様々な表現の基礎的な知識・技能を学ぶことを通し、幼児の表現を支えるための感性を豊かにする。		◎		○				○	○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）							
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目							
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きながらえること”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力
					知識		姿勢			行動		
1	2	3	4	5	6	7	8					
26UEDE3709	保育内容・健康	3	幼稚園教育要領に示された領域「健康」のねらいおよび内容について理解を深め、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。学習内容は、(1)生活習慣や災害時の安全に関する指導について、具体例やICTを活用しながら理解すること、(2)幼児期の運動発達に沿った運動指導の留意点と教員の役割を具体的に考えること、(3)遊びや生活の場面において動きを引き出す環境を構成することを学ぶこと、(4)幼児の健康に関わる現代的課題や保育実践について、教員の援助や環境の構成について考えること、(5)「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」のうち、「健康な心と体」「自立心」「協同性」「道徳性・規範意識の芽生え」などを取り上げ、具体的な事例を基に考えること、(6)模擬保育では、ICTを活用し振り返ること、(7)小学校の各教科等とのつながりを理解することである。領域「健康」は、「健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う」ことを目指すものである。幼稚園教育や保育所保育等において育みたい資質能力について理解し、幼稚園教育要領や保育所保育指針等に示された領域「健康」のねらいおよび内容について、背景にある専門領域と関連させて理解を深め、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。	(1) 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本や保育所保育指針に示された保育の基本等を踏まえ、領域「健康」のねらいおよび内容を理解している。 (2) 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「健康」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につける。		◎						
26UEDE3710	保育内容・環境	3	領域「環境」は、「周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う」ことを目指すものである。幼稚園教育や保育所保育等において育みたい資質能力について理解し、幼稚園教育要領や保育所保育指針等に示された領域「環境」のねらいおよび内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深め、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて領域「環境」の具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。	(1) 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本や保育所保育指針に示された保育の基本等を踏まえ、領域「環境」のねらいおよび内容を理解している。 (2) 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「環境」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につける。		◎						
26UEDE3711	保育内容・人間関係	3	領域「人間関係」は、「他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う」ことを目指すものである。幼稚園教育や保育所保育等において育みたい資質能力について理解し、幼稚園教育要領や保育所保育指針等に示された領域「人間関係」のねらいおよび内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深め、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想し実践する方法を身につける。	(1) 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「人間関係」のねらいおよび内容を理解している。 (2) 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「人間関係」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につける。		◎	○					○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）							
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目							
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きながらえること”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力
					知識		姿勢		行動			
1	2	3	4	5	6	7	8					
26UEDE3712	保育内容・言葉	3	領域「言葉」は、「経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞く」とする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う」ことを目指すものである。幼稚園教育や保育所保育等において育みたい資質能力について理解し幼稚園教育要領や保育所保育指針等に示された領域「言葉」のねらいおよび内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深め、発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。	(1) 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本や保育所保育指針に示された保育の基本等を踏まえ、領域「言葉」のねらいおよび内容を理解している。 (2) 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「言葉」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につける。		◎			○	○		
26UEDE2713	保育内容・表現（音楽）	2	領域「表現」は、「感じたことや考えたことを・自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする」ことを目指すものである。幼稚園教育や保育所保育等において育みたい資質能力を理解し、幼稚園教育要領や保育所保育指針等に示された領域「表現」のねらいおよび内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深め、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。	(1) 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本や保育所保育指針に示された保育の基本等を踏まえ、領域「表現」のねらいおよび内容を理解している。 (2) 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「表現」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につける。		◎		○			○	○
26UEDE3714	保育内容・表現（造形）	3	領域「表現」は、「感じたことや考えたことを・自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする」ことを目指すものである。幼稚園教育や保育所保育等において育みたい資質能力を理解し、幼稚園教育要領や保育所保育指針等に示された領域「表現」のねらいおよび内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深め、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。	(1) 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育や保育所保育指針に示された保育の基本等の基本を踏まえ、領域「表現」のねらいおよび内容を理解している。 (2) 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「表現」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につける。		◎		○			○	○
26UEDE3715	保育内容・表現（身体）	3	領域「表現」は、「感じたことや考えたことを・自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする」ことを目指すものである。幼稚園教育や保育所保育等において育みたい資質能力を理解し、幼稚園教育要領や保育所保育指針等に示された領域「表現」のねらいおよび内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深め、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。	(1) 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本や保育所保育指針に示された保育の基本等を踏まえ、領域「表現」のねらいおよび内容を理解している。 (2) 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「表現」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につける。		◎		○			○	○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きつなげる”の専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢			行動			
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDE2716	教育課程・保育計画論	2	教育目標に示されている人格の完成の実現に向けて、子どもの心身の成長・発達に応じた保育・教育を行うために、保育・教育課程についての意義や編成についての理論を理解する。	(1) 教育課程や保育の計画の役割や機能を把握するとともに、それまでの変遷やその時代の社会的背景や要請について理解している。 (2) 教育課程や保育の計画を編成するときの観点や方法などについて理解している。 (3) 編成の背景となる子どもの心身の成長・発達や社会的状況等について理解している。 (4) 教育課程や保育の計画を省察し、評価および省察と改善（カリキュラム・マネジメント）についての意義や重要性を理解している。		◎				○			
26UEDE2717	子ども理解と幼児教育	2	保育者にとって不可欠な、幼児を理解する力を持つことの重要性を知り、意欲と熱意を持って保育者に必要な知識や技能を学ぶ姿勢を身につける。保育者としての幅広い教養とともに自分の得意分野を見つけ、幼児の「生きる力」の基礎を培える基礎的な力を身につける。	(1) 幼児を理解することが教育・保育に大きな関わりを持つことを理解する。 (2) 保育者にとって必要な幅広い教養的知識を得る。 (3) 自分の得意分野や強みを自覚し、それを高めていくことができる。		◎	○						
26UEDE4718	教育実習事前事後指導Ⅱ（幼）	4	教育実習の意義を自覚し教育実習に臨めるようにするための基礎的・予備知識や技能の習得を目指すとともに、事前学習と実習園での実体験を結合させる。また、実習後の振り返りを行いつつ、教職への認識を確かなものとするを目標とする。	(1) 教育実習に備えて、実習についての知識、技能、心構えを習得する。 (2) 保育指導案の作成、教育実習記録の記入方法を学び、ポイントを定め、まとめられるようになる。 (3) 実習体験報告交換会等の中で、進んで自己課題を発表したり、他者の反省から学びを深め合えるようになる。		◎		○	◎				
26UEDE4719	教育実習Ⅱ（幼）	4	幼稚園で教育実習を行うことにより、幼児教育者として必要な保育観・知識・技能・態度等を学ぶ。他の授業で学んだ理論や実技等を応用しながら、体験を通して具体的な指導力を身につける。	(1) 教育実習体験の中で指導法の実践を学び、保育実践を通して自己課題をもつ。 (2) 幼児理解の方法を保育実践を通して学び、日々の保育に展開できる力を身につける。 (3) すべての園内業務を理解し、保育環境の重要なことを知り、実務実習を進んで行う。		◎		○	◎				
26UEDE3801	特別支援教育基礎理論	3	特別支援学校の教育や学校の組織等を知り通常学校の教職とは異なる特別支援学校の教員としての自覚と使命について学ぶ。	(1) 特別支援学校の教員としてどのようなことを目指すべきかを知る。 (2) 特別支援学校の教員の職務内容について理解する。		◎	○						○
26UEDE2802	知的障害者の心理・生理・病理	2	知的障害児・者の心理・生理・病理の特徴を学び、特別支援教育のための基礎的知識を習得する。	(1) 知的障害児・者の教育や支援に必要な最低限の知識を習得する。 (2) 特別支援教育に携わるために必要な発展的科目習得の準備をする。 (3) 特別支援教育だけでなく、保育・初等教育に携わる者として必要な最低限の知識を習得する。		○	◎						○
26UEDE2803	肢体不自由者の心理・生理・病理	2	将来「特別支援教育」に携わる教員および保育士だけでなく、広く「肢体不自由児・者」の理解への糸口となる。	(1) 体が動く仕組みを理解する。 (2) 肢体不自由児・者の心理・生理・病理特徴を理解する。		○	◎						○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）									
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きつなげる専門性”	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力		
					知識		姿勢			行動				
	1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDE3804	病弱者の心理・生理・病理	3	病弱者教育の基盤として、病弱者の心理、生理、病理の知識を学ぶ。慢性疾患を患ったことから発生する、身体と生理的側面、心理的側面、社会的側面にわたる影響を学び、病弱者とその家族にあった適切な支援ができる教員としての資質を培う。	(1) 病気の基礎知識（生理と病理など）、そして心理状態について学び、教育上の指導や教育的配慮を理解する。 (2) 病気、病弱の子どもの個別性を理解し、個別学習指導計画を立案できる基礎を学ぶ。 (3) 病気のある子どもに対する特別支援学校教員の教育の役割を考える。 (4) 病弱者とその家族が暮らしやすい社会の実現について考えを深化させる。		○	◎						○	
26UEDE2805	知的障害教育	2	知的障害児の臨床を学び、知的障害児の教育課程、指導法、生活や社会性の支援について正しく理解する。	知的障害児の特性を学び、それらに応じて必要な支援の仕方を考えることができるようになる。			◎	○						○
26UEDE3806	肢体不自由教育	3	肢体不自由児の臨床を学び、肢体不自由児の教育課程、指導法、生活支援について正しく理解する。	(1) 肢体不自由教育の現状を知り、課題に気づく。 (2) 肢体不自由児と定型発達の子どもの比較しつつ肢体不自由教育の視点を明確にする。 (3) 指導根拠を明確にした専門性の高い教育のあり方を追求する。			◎	○						○
26UEDE3807	病弱教育	3	病弱児の臨床を学び、病弱教育の教育課程、指導法、病弱児の自己管理支援について正しく理解する。	(1) 病弱教育の教育課程について正しく理解する。 (2) 病弱児の指導法について正しく理解する。 (3) 病弱児の自己管理支援について正しく理解する。			◎	○						○
26UEDE4808	知的・発達障害教育演習	4	知的・発達障害者（児）の心理・生理・病理の基礎を学び、発達過程の概観を踏まえ、知的・発達障害児の教育の基本的な考え方と具体的な指導・支援法のあり方について理解を深める。さらに、指導根拠を明確にした指導方法について追求し、幼児児童生徒の自立につながる指導方法を具体的に考える。	(1) 知的・発達障害児の確かな実態把握の方法を理解する。 (2) 知的・発達障害児の実態把握から児童生徒の課題を設定し、指導方法を考えることができる。 (3) 知的・発達障害児の指導結果についての的確な評価ができ、次の指導につなぐことができる。 (4) 個別の指導計画（PDCAサイクル）を理解する。 (5) 知的・発達障害児の特別支援学校での各種障害に対応した指導法を理解する。 (6) 通常の学級の中で配慮を要する幼児児童生徒への指導方法を考えることができる。			○	◎						○
26UEDE3809	肢体不自由教育演習	3	肢体不自由児の臨床を学び、個々の子どもに即した教育の必要性を実感し、肢体不自由教育を理解する。	(1) 肢体不自由児の臨床を理解している。 (2) 子どもに即した教育の必要性を実感し、肢体不自由教育を理解している。			◎	○						○
26UEDE4810	病弱教育演習	4	病弱児教育担当者の専門性の向上へ向けて、様々な疾患を有する子どもの精神的、身体的背景を理解し、彼らが生き生きと生活し、またより飛躍できるための良きアドバイザーとなる。	(1) 様々な疾患を有する子どもの精神的、身体的背景を理解している。 (2) 病弱児が生き生きと生活し、またより飛躍できるためのアドバイスができる。			◎	○						○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きながらえること”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢			行動			
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDE2811	視覚・聴覚障害教育総論	2	視覚障害と聴覚障害者（児）の心理・生理・病理の基礎を学び、さらに視覚障害と聴覚障害のある幼児児童生徒の教育の基本的な考え方と、具体的な指導・支援について学ぶ。	(1) 視覚障害のある幼児児童生徒の保育・教育に必要な基本的な知識を獲得し、指導・支援を理解する。 (2) 聴覚障害のある幼児児童生徒の保育・教育に必要な基本的な知識を獲得し、指導・支援を理解する。 (3) 特別支援学校だけでなく、通常の学校での視覚・聴覚障害のある幼児児童生徒への教育のあり方を考えることができる。		◎	○						○
26UEDE3812	重複障害等教育総論	3	行動上の重複障害と発達上の重度重複障害への特別支援教育における対応体系の全体像の基本的知識を身につけ、重複障害等の特性（心理、生理、病理）についての基本的理解をする。さらに自立活動を中心とした重複障害等への指導の基本的理解をする。	(1) 重複障害に関して、興味を持って調べようとし、学習の過程の中で新しい発見をし、重複障害への効果的指導法を論述できる。 (2) 重複障害を理解し、個のニーズに合った指導計画の概略が作成でき、指導上の問題解決を図る能力を身につける。		◎	○						○
26UEDE4813	特別支援学校教育実習事前事後指導	4	特別支援学校で教育実習を行うために必要な教職専門知識・技能などを学ぶ。	障害のある子どもと接する時の基本的な姿勢について、十分な理解をすすめる。		◎		○	◎				○
26UEDE4814	特別支援学校教育実習	4	特別支援教育は、教職に就く者は必ず実践する内容である。特に特別支援学校の教育実習を通して、これまでに学習した理論・方法を活用して、特別支援学校教員を目指す者として必要な、障害のある子どもに対する見方・知識・態度などを学び、指導力をつける。	(1) 子どもとのふれあいや実習校の指導教員の指導を通して、障害のある子どもの理解を深める。 (2) 求められる知識・技能・態度を学習する。 (3) 特別支援教育の指導者としての使命感を養う。		◎		○	◎				○

令和8年度入学生用カリキュラムマップ

【教育学科】

【小学校・中学校教育コース】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な 化・複雑化 する社会を 理解する力	2. “生き ること”に つながる専 門性	3. 自他を 尊重する姿 勢	4. 失敗を 恐れず挑戦 する姿勢	5. 逆境や 困難に対応 するしなや かな姿勢	6. 論理的 に考え伝え る力	7. 新たな 価値を創造 する力	8. 多様な 人々と協働 する力	
					知識		姿勢		行動				
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDB1001	初期演習Ⅰ	1	本学で修得すべきことは何かを理解し、自主的に学び新たな発見を導きだせる力を身につけることを目的とする。このため、本学の「立学の精神」および人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」を知り、本学学生としての誇りと自覚を持つ。さらに、MUKOGAWA COMPASSに掲げられた「自ら考え、動く」ための力を培い、女性として有為な社会人となるために、それぞれの学部学科の専門性に基づく知識と社会人基礎力の修得の必要性を理解し、各自のキャリアデザインを自ら構築する。	大学の修学の基礎となる単位制を理解し、適切な履修計画に沿って修学する主体性、考える力を身につけ、人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」と所属学科の3つのポリシーに基づく専門教育の概要を把握し、自らのキャリアデザインを組み立てる力を身につける。また、良識ある社会人となるための社会人基礎力の必要性を理解し、その基盤となる十分なコミュニケーション能力を培い、基本的な社会ルールを理解し、本学学生としての誇りと自覚を身につける。さらに、学習・研究を進める上での倫理の基礎となる情報の取り扱いに関する知識を身につける。	◎		○		○				○
26UEDB1002	初期演習Ⅱ	1	「初期演習Ⅰ」で学んだことを踏まえて、2年次以降の専門領域の学習のための準備として、大学での学び方を演習形式で実践することにより研究のための基礎・基本を身につける。	(1) 教育学・保育学に関する問題について、文献の正確な読み方および課題発見、資料検索、データ収集の方法について理解する。 (2) 収集したデータの分類整理、論理的な言説の展開、説得力のある提示や発表のしかたなどを行うことができる。			○			◎			◎
26UEDB1003	日本国憲法	1	教職を目指す人の基礎的な素養として、日本国憲法の基本的な理念とその表現である主な条文について理解を深める。	(1) 憲法と法律の違いを説明できる。 (2) 日本国憲法についての基本的知識をもつ。 (3) 社会の諸事象を日本国憲法に照らして考えることができる。	◎		○						
26UEDB1004	英語Ⅰ	1	中学校外国語科（英語）の指導に対応するだけでなく、広く社会で英語が使われることに鑑み、英語の4つの技能（話す、聞く、書く、読む）を有機的に関連づけて、発音や文法も含めた総合的英語運用能力を身につける。	(1) 基礎的な文法事項を再確認して、話したり書いたり読んだりするときに活用できる。 (2) 基礎的な語彙を確認しながら、英文の内容を正しく読み取ることができる。 (3) 日常会話のレベルで英語を聞いて理解し、正しい発音で受け答えができる。	◎						○		
26UEDB1005	英語Ⅱ	1	中学校外国語科（英語）の指導に対応するだけでなく、広く社会で英語が使われることに鑑み、英語の4つの技能（話す、聞く、書く、読む）を有機的に関連づけて、英語の発声のしくみや文法も含めた総合的英語運用能力を高める。	(1) 話したり書いたり読んだりすることを正確な文法で行うことができる。 (2) 語彙を増やししながら、英文の内容を正しく読み取ることができる。 (3) 英語を聞いて理解し、受け答えや自分の意見を述べることができる。	◎						○		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）									
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きつながる専門性”	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力		
					知識		姿勢		行動					
		1	2	3	4	5	6	7	8					
26UEDB2006	外国語コミュニケーションⅠ	2	「英語Ⅰ・Ⅱ」で身につけた4技能の総合的な力を基礎にして、社会で使えるオーラル・コミュニケーション能力をさらに発展させる。また、多様な題材や教材を用いて、教育現場で使える英語を学習し、幼児・児童英語教育のための実践的英語能力を身につける。	(1) 日常的な話題について英語で会話することができる。 (2) 教室英語の様々な表現を学習する。 (3) 英語の発音、リズムやイントネーションに慣れる。	◎									○
26UEDB2007	外国語コミュニケーションⅡ	2	「英語Ⅰ・Ⅱ」で身につけた4技能の総合的な力を基礎にして、社会で使えるオーラル・コミュニケーション能力をさらに発展させる。また、多様な題材や教材を用いて、教育現場で使える英語を学習し、幼児・児童英語教育のための実践的英語能力を身につける。	(1) 日常的な話題について英語でプレゼンテーションやディスカッションができるようになる。 (2) 教室英語表現を場面に応じて使えるようになる。 (3) 幼児・児童向けの英語の歌を歌ったり、物語を朗読したりできるようになる。	◎									○
26UEDB1008	教育とICT	1	大学教育に適応し、安全で適切な情報活用ができるための基礎的な情報リテラシーを身につける。コンピュータやネットワークの知識、情報モラルの知識と実践力を育成するとともにオフィスソフトの活用をもとにしたレポート作成の基礎的な技能を確実に習得する。さらに、教員・保育士の仕事を援助する道具としてコンピュータを使いこなす能力と、教職に必要な情報教育についての高度な情報処理能力を獲得し、情報化社会に対応した教育を実践できる能力を育成する。	(1) 本学のシステムやオンラインサービスを知り、使いこなすことができる。 (2) 基礎的なコンピュータやネットワークに関する知識、情報モラルに関する知識を持ち、場面に応じて、安全にコンピュータやネットワークを活用することができる。 (3) レポートを作成するために必要なソフトの活用技能を習得し、課題に応じた簡単なレポート作成ができる。 (4) 教育・保育に利用できるマルチメディア技術を習得するとともに、教育・保育現場で必要な情報モラルの基本を身につける。	◎	○					○			
26UEDB1009	体育Ⅰ	1	体育・スポーツについての講義と体験的活動を通して、教育者・保育者に求められる健康と安全についての知識と技能を身につける。	(1) 安全対策の理論的背景について理解する。 (2) 水泳を安全に実践することができる。 (3) 教職に対応できる技能の習熟と安全で効果的な指導法を習得する。	◎									○
26UEDB1010	体育Ⅱ	1	体育・スポーツについての体験的活動と講義を通して、教育者・保育者に求められる健康と安全についての知識と技能を身につける。	(1) 陸上運動とリズムダンスの理論的背景について理解する。 (2) 陸上運動とリズムダンスを安全に実践することができる。	◎									○
26UEDM2001	基礎演習	2	「初期演習」での学習をふまえて、現代社会における教育に関する課題を主体的に見つけ、それらについて議論、検討し、得られた知見をプレゼンテーションやレポート発表によって表現する力量を形成する。それにより、教員・保育者として必要な、課題を発見し、解決する力、論理的に思考する力、創造的に表現する力を身につける。	(1) 子どもと教育に関して、グループでテーマを設定して調査し、まとめ、プレゼンテーションを行うことができる。 (2) 子どもと教育の問題に関して、データの収集、整理、分析を通して新しい知見を生み出し、それをレポートにまとめることができる。		○		○			○			◎

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）							
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目							
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生き残る”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力
					知識		姿勢		行動			
1	2	3	4	5	6	7	8					
26UEDM3002	教育演習	3	「卒業研究」につながる科目である。少人数の演習形式の授業を通して、教育・保育に対する深い理解と、論文を作成するなどの教育・保育に必要な技能、ディスカッションする力、教育・保育に関する課題を自ら探究する力を身につける。また、担当者によっては、専門的なスキルの習得とプレゼンテーション能力を重視する。	(1) 次年度に卒業研究に取り組むために必要な様々な知識とスキルを身につける。 (2) 教育・保育に関する問題を深く考え、他の人と議論し、論理的な結論を導き出すことができる。 (3) 身につけたスキルをもとに、説得力あるプレゼンテーションができる。		○	◎	○	◎			○
26UEDM4003	卒業研究	4	自分で選択したテーマについての理解を深めるとともに、論文の形にまとめていく。教育演習で身につけた、教育・保育に関する課題を自ら探究する力を一層高める。また、担当者によっては、作品公開や技能実演を行う。	(1) 研究に必要な幅広く深い知識と、研究を進めるためのスキルを身につける。 (2) 教育・保育に関する多様な考えを批判的に理解し、自分の見解をもつことができる。 (3) 身につけたスキルをもとに、説得力あるプレゼンテーションができる。		○			◎	○	◎	
26UEDM2101	教育原理	2	教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育および学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを理解する。また、教育実践に関わる基礎理論と実際の取り組みを学び、現代教育の抱えている課題を理解する。	(1) 教育という営みの基本的概念、および教育を成り立たせる諸要因とそれら相互の関係を理解している。 (2) 教育の歴史に関する基礎的知識を身につけ、それらと多様な教育の理念との関わりや過去から現代に至るまでの教育および学校の変遷を理解している。 (3) 教育に関する様々な思想、それらと多様な教育の理念や実際の教育および学校との関わりを理解している。		◎	○					
26UEDM1102	教職入門	1	現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について身につけ、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職のあり方を理解する。	(1) 現代社会における教職の意義や、子どもの成長発達に関わる教員の役割を理解している。 (2) チーム学校のあり方などの実際の学校現場の様子や、授業をはじめとする教員の仕事、現代教育の課題を理解している。 (3) 子ども期の体験の意味を捉える視点を持ち、子どもの体験に向きあう姿勢を備えている。 (4) 教職に就くための高い意欲と課題意識を持ち、教育に携わる責任を自覚している。		◎	○		○			○
26UEDM1103	保育者論	1	幼稚園や保育所・施設等で保育を行う者として、あるべき姿や倫理観、使命感、専門性を理解し、保育現場に臨むための自己課題を明確にするとともに、学習に取り組む。	(1) 保育者の役割と倫理について理解する。 (2) 保育者の制度的な位置づけを理解する。 (3) 保育者の専門性について考察し、理解する。 (4) 保育者の協働について理解する。 (5) 保育者の専門職的成長について理解する。 (6) 保育者を目指す者としての学習のあり方を見直し、目的意識を持つとともに、自己課題を明確にする。		◎	○		○			○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きること”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢			行動			
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDM1104	教育社会学	1	教育社会学の観点から、「近代教育」や「学校」の歴史的な位置づけを確認した上で、今日における問題や課題を捉え、教員の役割や職務内容の理解を深め、教員として必要な資質・能力を修得する。	(1) 我が国および諸外国における近年の教育事情および教育政策の動向を理解している。 (2) 子どもの生活の変化を踏まえた指導上の課題を理解し、教育現象を歴史的側面や社会的側面を結び付けて捉えられる。 (3) 現在の学校および教育に関する社会的期待や批判等について客観的に考えられる。教員や学校に対する社会的期待を理解し、それに答える方法について考えられる。		○	◎						
26UEDM1105	教育心理学総論	1	幼児、児童および生徒の心身の発達および学習の過程について、基礎的な知識を身につけ、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎を身につける。心理学の代表的な理論を学ぶことで、乳幼児期から青年期の各時期における運動・言語・認知・社会性の発達および発達上の問題のある子どもへの対応に関する知識と技術を獲得し、主体的学習を支える記憶、行動、動機づけ、集団づくり、学習評価のあり方などについて、発達の特徴と関連づけて理解する。	(1) 乳幼児期から青年期の各時期における運動・言語・認知・社会性の発達および発達上の問題のある子どもへの対応に関する知識と技術を獲得している。 (2) 主体的学習を支える記憶、行動、動機づけ、集団づくり、学習評価のあり方などについて、発達の特徴と関連づけて理解している。 (3) 教育における心理学の意義を理解し、具体的な問題解決を志向する態度を身につけている。		◎	○						
26UEDM1106	発達心理学	1	教育・保育に関わる心理学の基礎的知識を習得し、子どもの発達と学習の過程への理解を深める。生涯発達の過程とともにその発達が人ととの相互的関わりを通してなされていくことを理解する。また、子どもの学習の過程に関する基礎的知識を身につけ、主体的な学習を支える基礎を身につける。	(1) 重要な発達理論を説明することができる。 (2) 各発達時期の特徴と課題とを述べることができる。 (3) 発達と学習の理論を踏まえて、子どもの主体的な学習活動を支える指導のあり方を考えることができる。		◎	○						
26UEDM3107	教育史	3	教育の歴史は、社会・文化の歴史と同様に人類の起源にまでさかのぼることができる。その中で近代以降の教育は、子どもの教育として自立し、学校という場を中心に固有の任務を担うようになり、教育思想に導かれるようになった。本授業科目では、現代の教育について省察し、未来の教育を展望することを視野に入れながら、教育思想史の見方を中心に教育の歴史について考える。	(1) 教育についての考え方の歴史的変遷を、時代背景や社会構造の変化と照らし合わせながら説明できる。 (2) 近代学校の特徴と歴史について、適切な概念の用語を用いて解説することができる。 (3) 教育・教育学の理論的基盤がどのような思想によって形成されたかを理解し、教育史上で重要な教育思想家の思想的特徴を説明することができる。		◎							
26UEDM3108	教育哲学	3	「教育哲学」を組み入れる歴史的社会的文脈を学ぶ。さらに「子どもの発達」や「子どもへの教育」を、大人や老人を含めた「ライフサイクル」の全体、そしてライフサイクルの各段階での異なった世代どうしの「相互生成」から見直すことによって、「教育」を根本から考え直す。	(1) 「教育哲学」を組み入れる歴史的社会的文脈を理解する。 (2) さらに「子どもの発達」や「子どもへの教育」を、大人や老人を含めた「ライフサイクル」の全体、そしてライフサイクルの各段階での異なった世代どうしの「相互生成」から見直すことによって、「教育」を根本から考えることができる。		◎	○		○				

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きながらえること”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢		行動				
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDM2109	教育行政学	2	教育・保育実践のために必要な基礎的素養として、教育行政の全般について基礎を理解する。その中では、一般行政と教育行政の違い、我が国の教育行政の仕組みとその基礎となる考え方、文部科学行政の権限とその範囲、地方教育行政を支える教育委員会の権限とその範囲、学校教育を支える施設・設備・教職員・教育内容・教科書等に関する行政の実際、学校以外で行われる生涯学習をめぐる行政の仕組みなどについて学ぶことを通して、教育・保育を担うための基礎的知識を身につける。さらに、学校と地域との連携に関する理解および学校安全への対応に関する基礎的知識も身につける。	(1) 公教育の原理および理念を理解している。 (2) 公教育制度を構成している教育関係法規を理解している。 (3) 教育制度を支える教育行政の理念と仕組みを理解している。 (4) 公教育の目的を実現するための学校経営の望むべき姿を理解している。 (5) 学校における教育活動の年間の流れと学校評価の基礎理論を含めたPDCAの重要性を理解している。 (6) 学級経営の仕組みと効果的な方法を理解している。 (7) 学校と地域との連携の意義や地域との協働の仕方について、取り組み事例を踏まえて理解している。 (8) 学校の管理下で起こる事件、事故および災害の実情を踏まえて、学校保健安全法に基づく、危機管理を含む学校安全の目的と具体的な取組を理解している。		◎	○						
26UEDM1201	共生社会論	1	多様な個人や社会集団がお互いを認め、尊重し合い、協働することにより、社会的諸課題を解決し、共生社会を構築するための理論と方法論を、諸外国や日本のこれまでの事例を参照しつつ学ぶ。共生社会の実現のためには、ジェンダー、民族、宗教、文化、障がいなどによる社会的排除を克服し、人々のインクルーシブで相互に寛容な関係性を築くことが必要であり、共生の価値観を共有することが不可欠である。授業では、そうした価値観の共有をどのように展望すればよいのかについてともに考える。	(1) 多様な他の個人や集団が相互に認め、尊重し合い、協働することにより、社会的諸課題を解決し、共生社会を構築するための理論と方法論について理解し、説明できる。また自分の考えを述べることができる。 (2) ジェンダー、民族、宗教、文化、障がいに関連する諸問題について理解し、説明できる。また自分の考えを述べることができる。			◎					○	
26UEDM1202	子ども家庭福祉	1	子どもとその家族の社会的背景やその変遷を学び、子どもの権利、関連する児童福祉の理念および知識の理解を深める。また、現代社会における子どもやその家庭に関わる課題についての理解を深め、子どもと家族への支援のあり方を考える。	(1) 現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷について理解する。 (2) 子どもの人権擁護について理解する。 (3) 子ども家庭福祉の制度や実施体系等について理解する。 (4) 子ども家庭福祉の現状と課題について理解する。 (5) 子ども家庭福祉の動向と展望について理解する。	○		◎		○				
26UEDM1203	国際教育論	1	世界で見られる様々な教育問題と日本の関わりについて学ぶ。特に、発展途上国における教育開発に対する国際教育協力と日本国内での国際教育協力、および学生による海外ボランティア活動が含まれる。	(1) 国際教育協力の理論を理解することができる。 (2) 国際教育協力における課題を様々な角度から把握し、その解決方法を考えることができる。 (3) 設定したテーマについて主体的に調査し、分析、発表することができる。		○	◎						○
26UEDM1204	社会調査法	1	教育に関する様々な情報を活用してそこから有用な情報を読み解くために、記述統計と初歩的な推測統計の技法を身につける。	(1) 社会事象、とりわけ教育に関する様々なデータを読み解くことができる。 (2) 社会事象、とりわけ教育に関するデータを収集し、わかりやすく表現することができる。 (3) 初歩的な推測統計を用いて、社会事象、とりわけ教育に関するデータを分析できる。						◎			

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）															
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目															
					1. 多様な文化・複雑化する社会を理解する力		2. “生き残る”に専らつながる専門性		3. 自他を尊重する姿勢		4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢		5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢		6. 論理的に考え伝える力		7. 新たな価値を創造する力		8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢		行動											
1		2		3		4		5		6		7		8						
26UEDM2205	人権教育と福祉	2	現代社会の諸課題についての探究的活動を通して、初等教育に携わる教員としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 現代社会の諸課題に基づいた授業計画と立案することができる。 (2) 学習した内容を踏まえて、自分の意見を持つとともに、各自で工夫した活動を行うことができる。 (3) 小学校社会科における授業内容を通して、エネルギーや環境問題、貧困問題といった社会問題への関心を高めることができる。	○		◎													
26UEDM2206	異文化理解とコミュニケーション	2	小学校・幼稚園の教員として、地域や職場のグローバル化に対応し、様々な文化背景や価値観を持つ人々と良好なコミュニケーションを行うことのできる能力を養成する。外国にルーツのある子どもたちを支援する団体・小学校で実際に子どもたちを支援することにより現場での課題について学ぶ。	(1) 文化の違いによる言語・非言語コミュニケーションスタイルの多様性を理解している。 (2) 文化背景や価値観の異なる人々の考えに敬意を持って耳を傾けるとともに、自分の考えもきちんと主張できる技術を身につけている。 (3) 外国にルーツのある子どもたちの状況について概要を知った上で、学習支援等を行う中で異文化コミュニケーションの課題を見出し、解決に向けて取り組むことができる。		○	◎			○			○							
26UEDM2207	海外教育交流実践	2	教育学科アメリカ分校プログラムに参加する学生が、国際的な教育交流を自ら構成し、実践する。	(1) 国際的な教育交流の意義を理解し、説明できる。 (2) 日米の教育や子どもたちの違いを学び、想像し、考えることができる。 (3) これらを踏まえて国際的な教育交流を構成し、実践する。				◎	○					○						
26UEDM2208	海外教育参加実習指導	2	アメリカの教育現場を観察するために必要な視点を学び、コミュニケーション能力を身につける。	(1) 留学に対する確たる目的意識を持つ。 (2) アメリカの教育現場を観察するための視点を持つ。				◎						○						
26UEDM2209	海外教育参加実習	2	アメリカの教育現場を観察することによって、アメリカの教育制度、学校教育、教育文化を学ぶ。	(1) アメリカの教育の特徴を説明できる。 (2) 日米の教育を比較し、日本の教育について意見を持つ。 (3) アメリカの幼児・児童と英語でコミュニケーションがとれる。				◎						○						
26UEDM2210	教育フィールドワーク	2	教育学の理論と教育現場等の実践知を関連させながら、教育現場等の活動を客観的に捉える基本的な能力を身につける。	(1) 専門教育科目の講義や演習で学んだ知識を踏まえて、教育現場の状況を解釈できる。 (2) 教育現場の観察と体験的活動を踏まえて、自身の課題を設定することができる。					○			◎		○						
26UEDM3211	異文化間教育	3	教育・保育の実践のための基礎的な素養として、主として外国で行われる教育や国境や文化をまたいで学ぶ子どもたちに目を向け、異文化間教育の基本的な考え方やその実際について学ぶ。その中で、世界の主要国における社会の形成過程や現状について知り、そこで行われる学校教育がどのような社会の現実に対応し、課題に取り組んできたのかを知る。	(1) 世界の国・地域で、それぞれの社会や文化を背景として形作られる教育の現状と課題を理解することができる。 (2) 国境や文化を越えて学ぶ子どもたちについて知り、必要な支援について考え、説明することができる。 (3) 設定したテーマについて主体的に調査し、分析、発表することができる。	◎	○			○					○						

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）							
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目							
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生き残る”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力
					知識		姿勢			行動		
1	2	3	4	5	6	7	8					
26UEDM2301	教育課程論	2	教育課程の意義・編成・実施・評価について知識と理解を得ることにより、教職を担うために必要とされる基礎的な素養を養う。また、教育課程の基準として定められている学習指導要領の変遷や、現行学習指導要領の特徴について学ぶとともに、各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。	(1) 現代日本の学校における教育課程について、それを支える考え方や法制、実際の編成・実施・評価の方法を、歴史と国際比較の二つの視点から説明できる。 (2) カリキュラムおよび教育課程という概念の成立と発展について理解している。 (3) 我が国の教育課程をめぐる制度について歴史的に概観できる。 (4) 現在の教育課程の基準（学習指導要領など）とそれに基づくカリキュラム・マネジメントの意義や重要性を理解している。 (5) カリキュラム評価の基礎的な考え方を理解している。		◎				○		
26UEDM2302	道徳教育の理論と実践	2	道徳教育と「特別の教科道徳」の重要性と特質を理解し、社会的課題や子どもたちの課題に向き合いながら、主体的・創造的に取り組むことができる力量を身につける。	(1) 我が国における道徳教育の改革動向について、基礎的知識を有している。 (2) 「特別の教科道徳」の基本理念を理解し、小学校における道徳の授業方法について、他の活動領域と関連づけながら具体的に計画し、実践できる力を身につける。		○	◎		○			
26UEDM2303	総合的な学習の時間の指導法	2	総合的な学習の時間における横断的・総合的な学習や児童の興味・関心等に基づく学習など創意工夫を生かした教育活動の展開に必要な基礎的知識を学習し、総合的な学習の展開に必要な資質を身につける。	(1) 総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標および内容を定める際の考え方を理解している。 (2) 総合的な学習の時間の指導計画を立案することができる。 (3) 各教科等との関連性を図りながら総合的な学習の時間の年間指導計画を作成することの重要性を理解している。 (4) PBLの進め方を理解し、主体的・対話的で深い学びを実現するような、総合的な学習の時間の単元構成ができる。 (5) 総合的な学習の時間の指導と評価の考え方および実践上の留意点を理解している。		◎						◎
26UEDM2304	特別活動の指導法	2	学習指導要領に示された「特別活動」について、内容や、その趣旨、指導法について理解する。	(1) 学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事といった特別活動の各分野の意味づけを理解する。 (2) 実際の指導にどう生かしていくか、具体的に探究することができる。		◎	○		○			

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きること”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢			行動			
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDM3305	生徒指導・進路指導の理論と実践	3	<p>1. 児童生徒の「生きる」力の育成を視点として、教員として必要とするこれからの学校における生徒指導・進路指導実践の理論と具体的な実践のあり方を学ぶ。</p> <p>2. 他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技術や素養を身につけるとともに、進路指導・キャリア教育の視点に立った授業改善や体験活動、評価改善の推進やガイダンスとカウンセリングの充実、それに向けた学校内外の組織的体制に必要な知識や素養を身につける。</p>	<p>(1) 生徒指導の意義や原理を理解している。</p> <p>(2) すべての児童生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方を理解している。</p> <p>(3) 児童生徒の抱える主な生徒指導上の課題の様態と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応のあり方を理解している。</p> <p>(4) 進路指導・キャリア教育の意義や原理を理解している。</p> <p>(5) すべての児童生徒を対象とした進路指導・キャリア教育の考え方や指導のあり方を理解している。</p> <p>(6) 児童生徒が抱える個別の進路指導・キャリア教育上の課題に向き合う指導の考え方やあり方を理解している。</p>		○	◎		○				
26UEDM3306	教育相談の理論と実践	3	<p>子どもの発達に関する心理学知識をもとに、幼児児童生徒の発達の状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的知識（カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む）および技術を身につける。</p>	<p>(1) 学校園における教育相談の意義とそれに関わる心理学の基礎的な理論・概念を理解している。</p> <p>(2) 教育相談を進める際に必要な基礎的知識（カウンセリングに関する基礎的事柄を含む）を理解している。</p> <p>(3) 教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取組みや連携の必要性を理解している。</p> <p>(4) いじめ、不登校・不登園、虐待、非行等の課題に対する、幼児、児童および生徒の発達段階や発達課題に応じた教育相談の進め方を理解している。</p> <p>(5) 教育相談の計画の作成や必要な校内体制の整備など、組織的な取組みの必要性および地域の医療・福祉・心理等の専門機関との連携の意義や必要性を理解している。</p>		○	○		◎				

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）							
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目							
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生き残る”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力
					知識		姿勢		行動			
1	2	3	4	5	6	7	8					
26UEDM2307	教育方法の理論と実践	2	<p>1. これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法および教育の技術に関する基礎的な知識・技能を身につける。</p> <p>2. 情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進のあり方および児童生徒に情報活用能力を育成するための指導法に関する基礎的な知識・技能を身につける。</p>	<p>(1) 授業設計や学習評価の基礎的な考え方を含む、教育方法の基礎的な理論と実践を理解し、これからの子どもたちに求められる資質・能力の育成に資する教育方法や、授業や保育を構成する基礎的な要件について理解している。</p> <p>(2) 基本的な授業技術を習得し、学習指導案を作成することができる。</p> <p>(3) 個別最適な学び、協働的な学びの実現や主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の観点および特別支援の観点から、学校教育におけるICTの活用意義とあり方を理解する。</p> <p>(4) 情報機器の操作スキルを含む教科等横断的な情報活用能力の育成や、各教科等の指導におけるICT活用についての理論と方法を身につける。</p> <p>(5) 教育データを活用した学習指導や学習評価、遠隔・オンライン教育についての理論と方法およびそれらに必要な機器操作を身につける。</p> <p>(6) 校務におけるICTの活用や、学校教育におけるICTの活用を支える環境整備、外部人材・外部機関との連携、教育情報セキュリティの重要性について理解する。</p>		◎			○	○		
26UEDM4308	学級経営論	4	小・中学校教育における学級担任の役割と仕事の理解を通して、教員としての資質・能力の基礎を養う。	<p>(1) 学級担任の役割について理解する。</p> <p>(2) 学級の運営計画を立案することができる。</p>		◎	○		○			
26UEDM1309	特別支援教育総論	1	特別支援教育の実践に必要な基礎として、障害のある子どもの心身の発達、およびその発達に即した教育の必要性と手法について学ぶ。	<p>(1) 障害のある子どもの心身の発達を知る。</p> <p>(2) 特別支援教育の実践に必要な基礎を学ぶ。</p> <p>(3) 障害のある子どもに即した教育の必要性と手法を学ぶ。</p>		○	◎		○			
26UEDM3310	発達障害等教育総論	3	学習障害（LD）、注意欠如・多動症（ADHD）、自閉症スペクトラム障害（ASD）、軽度知的障害、言語障害、情緒障害、重複障害について理解し、その指導について学ぶ。	<p>(1) 学習障害（LD）、注意欠如・多動症（ADHD）、自閉症スペクトラム障害（ASD）、軽度知的障害、言語障害、情緒障害、重複障害について理解する。</p> <p>(2) 上記の障害がある子どもへの指導について学ぶ。</p>		◎	○		○			
26UEDM3311	データリテラシーと教育	3	データを読み解き、そこからの有用な情報を取り出す能力は、情報技術が高度に発達し、グローバル化した現代社会では、必須ともいえる素養である。データ分析の有効性と留意点を踏まえた上で、教員として、自らデータを構成し、そこから豊かな知見を適切に導く知識を、コンピュータを用いて実践的に学ぶ。	<p>(1) 教員として、教育におけるデータを目的に応じて収集、分析、活用する力を身につける。</p> <p>(2) 学習指導や授業設計など、教育活動にAIやデータを活用する力を身につける。</p>		○				◎		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きつなげる”の専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢			行動			
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDM1406	社会科内容論	1	社会科教育の内容の理解と時事問題の探究的活動を通して、初等教育に携わる教員としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 社会科の学習内容について理解する。 (2) 時事問題について基礎的な解説ができる。	○	◎							
26UEDM2407	理科内容論	2	小学校理科における領域「A物質・エネルギー」および「B生命・地球」の理論的内容の理解と実験等の体験的活動を通して、初等教育に携わる教員としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 「A物質・エネルギー」および「B生命・地球」領域の教材について理解する。 (2) 「A物質・エネルギー」および「B生命・地球」領域の実験や観察を行うことができる。		◎				○			
26UEDM2408	生活科内容論	2	「体験」の意義の理解と生活科学習の探究的活動を通して、初等教育に携わる教員としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 生活科の学習内容について理解する。 (2) 生活科の教材研究を行うことができる。		◎				○			
26UEDM2409	音楽科内容論	2	ソルフェージュ（リズム・音程関連）と音楽理論（楽典）の理解と歌唱の基礎的な技術や表現方法の練習を通して、初等教育に携わる教員・保育者としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 基礎的なソルフェージュと音楽理論の知識を理解する。 (2) 基本的な発声を行うことができる。 (3) 基本的な譜読ができる。		◎					○		
26UEDM2410	図画工作科内容論	2	児童・幼児の発達段階と造形表現の関連についての理解と造形表現の体験的活動を通して、初等教育に携わる教員・保育者としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 制作の道具の使用法や材料の特性について理解する。 (2) 課題制作において、テーマに沿った効果的な自己表現をすることができる。		◎					○		
26UEDM2411	家庭科内容論	2	家庭科教育の内容の理解と自己の生活の反省的活動を通して、初等教育に携わる教員としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 家庭科の教育・学習内容について理解する。 (2) 自分の家庭生活を見直し、問題点を改善することができる。		◎				○			
26UEDM2412	体育科内容論	2	運動の特性の理解と各種運動の体験的活動を通して、初等教育に携わる教員としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 各種運動の特性を理解している。 (2) 体育科の教材研究を行うことができる。		◎				○			
26UEDM3413	国語科教育法	3	小学校国語科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における小学校国語科の目標、内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校国語科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して授業改善の視点を身につけている。		◎				○		◎	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）									
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生き残る”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力		
					知識		姿勢			行動				
	1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDM3414	算数科教育法	3	小学校算数科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における小学校算数科の目標・内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校算数科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。		◎					○			◎
26UEDM2415	外国語科教育法	2	小学校における外国語活動（中学年）・外国語（高学年）の教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における外国語活動および外国語科の目標・内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童期の第二言語習得の特徴について理解し、実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校における外国語活動および外国語科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。		◎						○		◎
26UEDM3416	社会科教育法	3	小学校社会科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における小学校社会科の目標・内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校社会科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。		◎						○		◎

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					知識		姿勢			行動			
					1	2	3	4	5	6	7	8	
26UEDM3417	理科教育法	3	小学校理科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における小学校理科の目標・内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校理科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。		◎				○			◎
26UEDM3418	生活科教育法	3	小学校生活科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における小学校生活科の目標・内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校生活科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。		◎				○		◎	
26UEDM2419	音楽科教育法	2	小学校音楽科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における小学校音楽科の目標・内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校音楽科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。		◎				○		◎	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）									
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きながら学ぶ”の姿勢	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力		
					知識		姿勢			行動				
		1	2	3	4	5	6	7	8					
26UEDM2420	図画工作科教育法	2	小学校図画工作科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における小学校図画工作科の目標・内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校図画工作科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。		◎					○			◎
26UEDM2421	家庭科教育法	2	小学校家庭科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における小学校家庭科の目標・内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校家庭科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。		◎					○			◎
26UEDM3422	体育科教育法	3	小学校体育科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における小学校体育科の目標・内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校体育科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。		◎					○			◎

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）							
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目							
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きながら学ぶ”の姿勢	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力
					知識		姿勢			行動		
1	2	3	4	5	6	7	8					
26UEDM3423	国語科授業研究	3	小学校国語科における実践的な授業場면을想定し、教育現場で活用できる授業方法を身につける。	(1) 学習指導要領に示された項目を実践的な授業と結びつけて考えることができる。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、実践的な教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を授業設計に結びつけて実行できる。 (4) 小学校国語科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 模擬授業を通して、児童とのやりとりの意味を反省的に捉えて改善に結びつけることができる。		◎	○		○			
26UEDM3424	算数科授業研究	3	小学校算数科における実践的な授業場면을想定し、教育現場で活用できる授業方法を身につける。	(1) 学習指導要領に示された項目を実践的な授業と結びつけて考えることができる。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、実践的な教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を授業設計に結びつけて実行できる。 (4) 小学校算数科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 模擬授業を通して、児童とのやりとりの意味を反省的に捉えて改善に結びつけることができる。		◎	○		○			
26UEDM3425	外国語科授業研究	3	小学校外国語科における実践的な授業場면을想定し、教育現場で活用できる授業方法を身につける。	(1) 学習指導要領に示された項目を実践的な授業と結びつけて考えることができる。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、実践的な教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を授業設計に結びつけて実行できる。 (4) 小学校外国語科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 模擬授業を通して、児童とのやりとりの意味を反省的に捉えて改善に結びつけることができる。		◎	○		○			
26UEDM3426	社会科授業研究	3	小学校社会科における実践的な授業場면을想定し、教育現場で活用できる授業方法を身につける。	(1) 学習指導要領に示された項目を実践的な授業と結びつけて考えることができる。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、実践的な教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を授業設計に結びつけて実行できる。 (4) 小学校社会科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 模擬授業を通して、児童とのやりとりの意味を反省的に捉えて改善に結びつけることができる。		◎	○		○			

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きつなげる” 専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢			行動			
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDM3427	理科授業研究	3	小学校理科における実践的な授業場면을想定し、教育現場で活用できる授業方法を身につける。	(1) 学習指導要領に示された項目を実践的な授業と結びつけて考えることができる。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、実践的な教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を授業設計に結びつけて実行できる。 (4) 小学校理科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 模擬授業を通して、児童とのやりとりの意味を反省的に捉えて改善に結びつけることができる。		◎		○		○			
26UEDM3428	生活科授業研究	3	小学校生活科における実践的な授業場면을想定し、教育現場で活用できる授業方法を身につける。	(1) 学習指導要領に示された項目を実践的な授業と結びつけて考えることができる。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、実践的な教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を授業設計に結びつけて実行できる。 (4) 小学校生活科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 模擬授業を通して、児童とのやりとりの意味を反省的に捉えて改善に結びつけることができる。		◎		○		○			
26UEDM3429	音楽科授業研究	3	小学校音楽科における実践的な授業場면을想定し、教育現場で活用できる授業方法を身につける。	(1) 学習指導要領に示された項目を実践的な授業と結びつけて考えることができる。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、実践的な教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を授業設計に結びつけて実行できる。 (4) 小学校音楽科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 模擬授業を通して、児童とのやりとりの意味を反省的に捉えて改善に結びつけることができる。		◎		○		○			
26UEDM3430	図画工作科授業研究	3	小学校図画工作科における実践的な授業場면을想定し、教育現場で活用できる授業方法を身につける。	(1) 学習指導要領に示された項目を実践的な授業と結びつけて考えることができる。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、実践的な教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を授業設計に結びつけて実行できる。 (4) 小学校図画工作科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 模擬授業を通して、児童とのやりとりの意味を反省的に捉えて改善に結びつけることができる。		◎		○		○			

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）							
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目							
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生き残る”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力
					知識		姿勢			行動		
1	2	3	4	5	6	7	8					
26UEDM3431	家庭科授業研究	3	小学校家庭科における実践的な授業場面を想定し、教育現場で活用できる授業方法を身につける。	(1) 学習指導要領に示された項目を実践的な授業と結びつけて考えることができる。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、実践的な教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を授業設計に結びつけて実行できる。 (4) 小学校家庭科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 模擬授業を通して、児童とのやりとりの意味を反省的に捉えて改善に結びつけることができる。		◎		○		○		
26UEDM3432	体育科授業研究	3	小学校体育科における実践的な授業場面を想定し、教育現場で活用できる授業方法を身につける。	(1) 学習指導要領に示された項目を実践的な授業と結びつけて考えることができる。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、実践的な教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を授業設計に結びつけて実行できる。 (4) 小学校体育科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 模擬授業を通して、児童とのやりとりの意味を反省的に捉えて改善に結びつけることができる。		◎		○		○		
26UEDM2501	日本語表現Ⅰ	2	理解語彙はもちろん、使用語彙を増やし、教員として社会人として正しく美しい日本語の使い手となるよう様々なジャンルの実用的な文章作成を体験することにより、中学校国語を教授するにふさわしい基礎的知識および技能を習得する。	(1) 中学校国語科を教授するにふさわしい基礎的知識および技能を身につけている。 (2) 自分の思いや考えを確かなものとするため、相手に正しく伝わるためにはどのように伝えることが一番望ましいのかということを考えて話したり書いたりできる。	◎	○				○		
26UEDM3502	日本語表現Ⅱ	3	場面に応じた言葉の使い分けや待遇表現、「手紙文」やお知らせなどの「公用文」の作成、ひな型についての基礎的知識も習得させ、中学校国語科を教授するにふさわしい基礎的知識および技能を深化させる。	(1) 中学校国語科を教授するにふさわしい基礎的知識および技能を深化させることを目的とする。 (2) 書き言葉だけでなく、音声言語の活動を通して国語で正確に理解し適切に表現することができる。 (3) 自分の意見や考えを適切に表現するためのプレゼンテーションの実践や聞き取り確認ができる。	◎	○				○		
26UEDM2503	日本語学概論Ⅰ	2	日本語学を学習、研究するのに必要な基礎的知識を習得し、日本語に対する様々な観点を知ることにより、中学校で国語を教えるのに必要な知識や技能を修得し、教職実践力を高める。	(1) 日本語学を学習、研究するのに必要な基礎的知識を習得している。 (2) 日本語を教えるのに、音韻、文字、文法、語彙、文体、言語生活、方言という観点があることを理解している。	○	◎				○		
26UEDM2504	日本語学概論Ⅱ	2	日本語学を学習、研究するのに必要な知識を習得し、日本語を様々な観点から学習することにより、中学校国語を教えるためのさらに高度な教職実践力を身につける。	(1) 現代日本語の文字表記やバリエーション、待遇表現、言葉の揺れなどについて理解している。 (2) 日本語を客観的に分析するための視野を広げるとともに、演習を通して言語感覚を高めていける。	○	◎				○		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）															
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目															
					1. 多様な社会を理解する力		2. “生きつなげる専門性”		3. 自他を尊重する姿勢		4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢		5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢		6. 論理的に考え伝える力		7. 新たな価値を創造する力		8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢		行動											
1	2	3	4	5	6	7	8													
26UEDM3512	日本近代文学史	3	明治から平成にかけての文学の流れを概観し、中学校国語科教育に必要な基礎的知識および技能等を学習する。各時代の特色および代表的作品について学習する。	(1) 日本の近代文学の様々なジャンルにおける主要な文学作品の作者、成立、内容等について説明できる。 (2) 各作品を味わうことにより、国語科教育指導者としての基本的知識を身につける。		◎														
26UEDM2513	漢文入門	2	漢文の訓読法と基礎的な読解力を身につける。とりわけ、中学校国語科の「漢文学」を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、授業実践のための実践的指導力と関連づけて理解する。	(1) 漢文の訓読法の基礎を理解している。 (2) 中国文化が日本文学・日本文化に及ぼした影響について理解している。		◎														
26UEDM2514	漢文学	2	漢文学中の散文分野あるいは韻文分野の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高め、中学校国語科において教授するに足る基礎的知識および技能等を修得する。	(1) 漢文の訓読法に習熟し、故事成語の出典となった漢文の文章を読むことができる。 (2) 中国文化が日本文学・日本文化に及ぼした影響について説明できる。		◎														
26UEDM3515	書道	3	書の古典における書体美を理解し、これを自ら表現できるようにし、中学校国語科の「書写」を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得する。	書写書道の基本について、実技と知識の両面から理解し、表現することができる。		◎											○			
26UEDM2516	中等国語科教育法Ⅰ	2	中学校国語科における教育目標と育成したい資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について理解を深める。また、背景となる「教科に関する専門的事項」について、指導法という観点から理解する。	(1) 学習指導要領における中学校国語科の目標および主な内容並びに全体構造を理解している。 (2) 中学校国語科の個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。 (3) 中学校国語科の学習評価の考え方を理解している。 (4) 中学校国語科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。 (5) 中学校国語科の授業を構想する能力を身につける。		◎							○							
26UEDM2517	中等国語科教育法Ⅱ	2	様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行い、中学校国語科の授業を構築する力を身につける。また、中学校国語科を教授する際に必要となる教材活用の理論と方法について学ぶ。	(1) 生徒の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (2) 中学校国語科の特性に応じた教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。 (3) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。		◎								○						
26UEDM3518	中等国語科教育法Ⅲ	3	中学校国語科の授業実施するための教科指導力や授業実践力を修得することを旨とする。また授業を行うに当たって必要な「教員としての振る舞い」を学ぶ。	(1) 模擬授業において授業を実施できる。 (2) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。 (3) 発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置づけを考察することができる。 (4) 授業での授業者としての立ち居振る舞いとコミュニケーション能力を身につける。		◎								○			◎			

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きつなげる” 専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢			行動			
	1	2	3	4	5	6	7	8					
26UEDM3519	中等国語科教育法Ⅳ	3	国語科教育の歴史と現在の課題を学び、中学校国語科指導者としての資質を身につける。中学校国語科教育の実践的課題を引き受け、国語科授業を構想する教員としての実践的指導力を追求する姿勢を身につける。	(1) 中学校国語科における教育の歴史を学び、自身の指導に取り入れることができる。 (2) 中学校国語科における教育の現代的課題を知り、対応する力を身につける。 (3) 中学校国語科における実践研究の動向を知り、授業設計の向上に取り組むことができる。 (4) 中学校国語科の特性に応じた情報機器の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。		◎				○			◎
26UEDM1601	英語文学入門	1	英語で書かれた文学を学ぶ中で、英語による表現力への理解を深めるとともに、英語が使われている国・地域の文化について学ぶ。中学校における外国語科の授業に生かすため、英米を中心とした英語圏の文学の諸相を概観し、文学とその背景にある文化・社会との関係性を理解する。	(1) 文学作品において使用されている様々な英語表現について理解している。 (2) 文学作品で描かれている、英語が使われている国・地域の文化について理解している。 (3) 英語で書かれた代表的な文学について基本的な知識を習得している。	◎	○							
26UEDM2602	英語学概論Ⅰ	2	中学校における外国語科の授業に資する英語学・言語学の基本的な考え方を日本語とも対照させながら学ぶ。音声学、音韻論、形態論、意味論、統語論、生成文法、意味論、語用論など理論的な英語学研究的な主要領域を概観して、音や形、意味の単位とその組み合わせ方や、会話やテキストの仕組みを解明しながら、英語の全体像を捉える。さらに、英語史、社会言語学などの観点から、英語が歴史的に辿ってきた過程や、現代の英語が社会の中で果たす機能についても学ぶ。	(1) 英語の音声の仕組みについて理解している。 (2) 英語の文法について理解している。 (3) 英語の歴史的変遷および国際共通語としての英語の実態について理解している。	◎	○				○			
26UEDM2603	英語学概論Ⅱ	2	中学校における外国語科の授業に資する英語学・言語学の基本的な考え方を日本語とも対照させながら学ぶ。前期の内容のうち、主に意味論・語用論および統語論の内容を掘り下げる。具体的には単語の意味や多義性、情報の新旧と文法の関係、比喩表現、推論と言語使用の関係、言語習得等のトピックを扱う。	(1) 単語の意味や使用、文法との関係について論理的に考えることができる。 (2) 英語の文の情報構造について理解している。 (3) 比喩や推論の基本について理解している。 (4) 言語習得の理論について基本的なことを理解している。	○	◎							
26UEDM3604	英語文法論Ⅰ	3	学校文法を批判的に観察・考察することによって、英語の文法に関してより深い理解と洞察を得る。単に規則を暗記するのではなく、その規則が現代における実際の言語使用と合致しているのか、また、歴史上その規則はどのような変遷を経てきたのか等を調べたり考えたりすることを通して、「文法」とは「覚える」ものではなく「自分で考え、理解し、記述・分析する」ものであるという認識へと転換していきたい。このことにより、将来、中学校英語科教員として授業を行う際にも「文法」に関して、より深く、柔軟で、実際の言語使用に即した取り扱いができるようになることが期待される。	(1) 英語文法の基礎的知識を身につけ、規則について、自分の言葉で明確に説明できるようになる。 (2) 英語の歴史と現代英文法との関連を知る。 (3) 「文法を考え、記述する」という感覚を身につける。	○	◎							

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きながらえること”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢			行動			
		1	2	3	4	5	6	7	8				
26UEDM3605	英語文法論 II	3	学校文法を批判的に観察・考察することによって、英語の文法に関してより深い理解と洞察を得る。単に規則を暗記するのではなく、その規則の言語における一般性や他の規則との関連を考察していくことを通して、「文法」とは「覚える」ものではなく「自分で考え、理解し、記述・分析する」ものであるという認識へと転換していく。このことにより、将来、中学校英語科教員として授業を行う際にも「文法」に関して、より深く、柔軟で、生徒の興味と深い理解を促進する取り扱いができるようになることが期待される。	(1) 英語文法の発展的知識を身につけ、規則について、自分の言葉で明確に、かつ生徒に分かりやすく説明できるようになる。 (2) 英語の歴史と現代英語の文法を関連づけ、生徒にもわかりやすく伝えることができる。 (3) 「文法を考え、記述・説明する」ということを実践できるようになる。	○	◎							
26UEDM3606	英語文学概論	3	英語で書かれた代表的な文学のうち、日本における英語教育に関連する作品を精読しながら、中学校における外国語科の授業で活用するために必要な知識と実践的な活用方法を学ぶ。具体的活動としては、これまでの英語科目や英語文学関連科目での学習内容を土台に、それぞれが英語圏の文学の技法について分析するとともに、その内容を発表し、他の学生と意見を共有することで、多面的に英語文学について理解を深める。	(1) テクストの精読を通じて多様な英語表現を理解し、英語文学の活用に興味や関心を持つことができる。 (2) 英語圏の文学のうち、特に英米の作家や作品の特徴をとらえながら、自分の分析を明確に説明することができる。 (3) 他の学生と積極的に意見を交換し、分析力を高めることで、英語文学の実践的な活用方法と指導力を身につけることができる。	○	◎							
26UEDM3607	外国語コミュニケーションⅢ	3	中学校において、生徒の理解の程度に応じた英語で授業を行うための英語運用能力を身につける。また、生徒に対して理解可能な言語インプットを与え、生徒の理解を確かめながら英語でインタラクションすることができる。	(1) ナチュラル・スピードに近い速さとリズムの英語に適応し、ネイティブ・スピーカーの問いに即座に答えられる。 (2) 日常生活だけでなく、特に教育問題を扱った題材を聞き取ったり読んだりして理解し、英語でディスカッションできる。 (3) 授業での指導で用いる英語表現を理解し、正しい発音で利用できる。	◎								○
26UEDM3608	外国語コミュニケーションⅣ	3	中学校において、生徒の理解の程度に応じた英語で授業を行うための英語運用能力を身につける。また、生徒に対して理解可能な言語インプットを与え、生徒の理解を確かめながら英語でインタラクションを進めていく柔軟な調整能力を身につける。	(1) CEFR B2レベル以上の英語運用能力を身につける。 (2) 教育問題を扱った題材を聞き取ったり読んだりして、自分の考えを英語でまとめてプレゼンテーションできる。 (3) 複数の領域を統合した言語活動を遂行することができる。	◎								○
26UEDM2609	ライティング I	2	中学校において、生徒の理解の程度に応じた英語で授業を行うための英語ライティング能力を身につけるため、語彙と表現の増強を図り、短い手紙や日常生活の描写、説明などが正確な英語で書けるようにする。また、英語と日本語の発想の違いや、文化的背景が言葉に与える影響なども解説し理解を深める。	(1) 様々な話題について、目的や場面、状況等に応じて英語で書くことができる。 (2) 中学校において、生徒の理解の程度に応じた英語で授業を行うための英語ライティング能力が身につけている。 (3) 英語と日本語の発想の違いや、文化的背景が言葉に与える影響などを理解している。	◎						○		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生き残る”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢			行動			
		1	2	3	4	5	6	7	8				
26UEDM3610	ライティング II	3	中学校において、生徒の理解の程度に応じた英語で授業を行うための英語ライティング能力を身につけるため、語彙と表現の増強を図り、リーディングでも学習する基本的なパラグラフの構成を理解し、論理的思考に基づいてパラグラフを展開させる練習を行い、論理的で説得力のある、より高度な内容の英語の文章が書けるようにする。	(1) 様々な話題について、目的や場面、状況等に応じて英語で書くことができる。 (2) 中学校において、生徒の理解の程度に応じた英語で授業を行うための英語ライティング能力が身についている。 (3) 論理的思考に基づいてパラグラフを展開させることができる。	◎						○		
26UEDM2611	リーディング I	2	中学校において、生徒の理解の程度に応じた英語で授業を行うための正確な読解力を身につける。英文を読む前の内容の予想、スキミングやスキニングなどの多角的なアプローチによって、文章の概要を素早く把握したり、パラグラフにおける主題文と支持文の見極めや関係性を理解して細部を正しく読み取ったりする訓練を行う。	(1) 様々なジャンルや話題の英語を読んで、目的に応じて情報や考えなどを理解することができる。 (2) 中学校において、生徒の理解の程度に応じた英語で授業を行うための英語読解能力が身についている。 (3) パラグラフにおける主題文と支持文の見極めや関係性を理解できる。	◎						○		
26UEDM3612	リーディング II	3	中学校において、生徒の理解の程度に応じた英語で授業を行うための正確な読解力を身につける。文章の概要を素早く把握したり、パラグラフにおける主題文と支持文の見極めや関係性を理解して細部を正しく読み取ったりする訓練を行い、特に教育問題を扱った論説、新聞、雑誌の記事を教材として取り上げ、必要な情報を得たり、概要や要点をまとめることを学ぶ。	(1) 様々なジャンルや話題の英語を読んで、目的に応じて情報や考えなどを理解することができる。 (2) 中学校において、生徒の理解の程度に応じた英語で授業を行うための英語読解能力が身についている。 (3) 教育問題を扱った論説、新聞、雑誌の英文記事を教材として活用できる。	◎						○		
26UEDM2613	中等英語科教育法 I	2	中学校英語科における教育目標と育成したい資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について理解を深める。さらに、背景となる「教科に関する専門的事項」について、指導法という観点から理解する。	(1) 学習指導要領における中学校英語科の目標および主な内容並びに全体構造を理解している。 (2) 英語科の個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。 (3) 英語科の学習評価の考え方を理解している。 (4) 英語科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。 (5) 英語科の授業を構想する能力を身につけている。	○	◎					○		
26UEDM2614	中等英語科教育法 II	2	様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行い、中学校英語科の授業を構築する力を身につける。さらに、中学校英語科を教授する際に必要となる教材活用の理論と方法について学ぶ。	(1) 生徒の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (2) 英語科の特性に応じた教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。 (3) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。	○	◎					○		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）									
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生き残る”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力		
					知識		姿勢			行動				
		1	2	3	4	5	6	7	8					
26UEDM3615	中等英語科教育法Ⅲ	3	中学校英語科の授業を実施するための教科指導力・授業実践力を修得し、授業を行うに当たって必要な「教員としての振る舞い」とコミュニケーションを学ぶ。	(1) 模擬授業において授業を実施できる。授業改善の視点を身につけている。 (2) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。 (3) 発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置づけを考察することができる。 (4) 授業での授業者としての立ち居振る舞いとコミュニケーション能力を身につけている。	○	◎					○			◎
26UEDM3616	中等英語科教育法Ⅳ	3	これまでの歴史と現在の課題を学び、中学校英語科の教員としての資質を身につけ、英語科における教育の実践的課題を引き受け、授業を構想する教員としての実践力を探求する。	(1) 英語科教育における教育の歴史を学び、自身の指導に取り入れることができる。 (2) 英語科における教育の現代的課題を知り、対応する力を身につけている。 (3) 英語科における実践研究の動向を知り、授業設計の向上に取り組むことができる。 (4) 英語科の特性に応じた情報機器の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。	○	◎					○			◎
26UEDM2701	Conversation	2	The primary aim of the course is to develop students' fluency and confidence in using functional oral language for daily interaction in an English-speaking country, including acquiring skills and knowledge for teaching English at school.	This class is designed to get students to feel more comfortable with using spoken English in a variety of situations. Students are expected to talk with other students in English, give presentations, and perform basic conversations.	◎				○					
26UEDM2702	Reading	2	The aim of this course is to improve general reading and vocabulary skills.	The goals of the Reading class are to learn to read extensively, to develop strategies for reading intensively, to learn literary terms for discussing texts, and to develop critical thinking skills.	◎									
26UEDM2703	Writing	2	The aim of this course is to improve general writing skills and grammar correction skills.	The goals of the Writing class are to develop writing fluency, English grammar and to learn the proper form and organization of good English paragraphs.	○						◎			

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）							
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目							
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きつなげる専門性”に尊重する姿勢	3. 自他を恐れず挑戦する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力
					知識		姿勢			行動		
1	2	3	4	5	6	7	8					
26UEDM2704	MUSC Fieldwork	2	<p>In the field of “education,” there are different circumstances in different nations, ethnic groups, cultures, and societies.</p> <p>The purpose of this course is to compare Japanese education with education in other countries, to consider how to improve education, and to explore the essence of education.</p> <p>The purpose of this project is to explore the essence of education by comparing education in Japan with education overseas. Through researching and supporting exchange activities between Japanese and foreign children in various places, such as kindergartens, elementary schools, and junior high schools, we will investigate the nature of education in Japan.</p> <p>The purpose of this course is to study the practical activities of international education by investigating and supporting exchange activities between Japanese and foreign children in kindergartens, elementary schools, junior high schools, and other places.</p>	<p>(1) To learn how to increase children’s understanding of different cultures and their sense of friendship through actual international exchange.</p> <p>(2) Learn how to utilize various resources necessary for exchange.</p> <p>(3) To learn how to cooperate with organizations involved in international exchange in each region.</p>			○		○		◎	
26UEDM2705	M u s i c	2	<ul style="list-style-type: none"> ●To learn about, as well as hear and experience, the various styles and genres of American Music throughout American history. ●To practice and learn several choral anthems which are performed at the end of the semester, at the Awards Ceremony. 	<p>(1) Recognize styles of American Music</p> <p>(2) Perform choral numbers</p> <p>(3) Read musical notation</p>							○	◎
26UEDM2706	Classroom English	2	<p>In this class, students learn the principles of language learning and identify the characteristics of successful language learners. Students also design and present language learning activities for children.</p>	<p>(1) To understand the significance and current status of elementary school foreign language education in Japan.</p> <p>(2) To acquire the practical English language skills necessary for teaching foreign language activities and classes in elementary schools.</p> <p>(3) To acquire the background knowledge necessary to teach foreign language classes in elementary schools, taking into consideration the connection between elementary and junior high schools.</p>		◎						○
26UEDM2707	Multicultural Communication	2	<p>As elementary and kindergarten teachers, the objective of this course is to develop the ability to communicate well with people of various cultural backgrounds and values in response to the globalization of the community and workplace.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●Deepen understanding of intercultural communication ●Discuss ideas and observations about American culture ●Speak to other Spokane area students 			◎			○		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きつなげる専門性”に尊重する姿勢	3. 自他を恐れず挑戦する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢		行動				
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDM2708	A r t	2	To develop knowledge, skills, and expression techniques related to teaching artistic expression to young children, focusing on children's development, creativity, and sensory awareness. It aims to help educators enrich children's artistic play and create supportive environments.	Understand children's artistic expression and their developmental stages. Develop sensory awareness and foundational skills in artistic expression, supporting children's creativity.				○				◎	
26UEDM3801	教育実習事前事後指導I (小)	3	小学校教育に関わる実践的な知識と教育実習の意義の理解を通して、教員としての自覚を持ち、実践的指導力の基礎を養う。「教育実習I(小)」に向けて、教育実習を行う上で必要となる学校教育全般にわたる基本的理解を図る。教育実習の意義、実習生としての望ましい態度・技能を修得し、教育者としての自覚を高める。教育実習を振り返り、教職への認識を確かなものとする。	(1) 小学校教育に関わる教員の活動と、教育実習の意義について理解する。 (2) 理論の理解を通して得た様々な情報を踏まえて、自身の課題を設定することができる。 (3) 学校教育全般に関する基本的な知識を理解する。 (4) 教職と自己に対する認識を深める。 (5) 小学校教員としての自覚を高め、態度・技能を修得する。		◎		○	◎			○	
26UEDM3802	教育実習I(小)	3	小学校教育に関わる体験的活動を通して、教員としての自覚を持ち、実践的指導力の基礎を養う。教育実習は教職課程の総括的、実践的意義を持つ教育経験の場である。講義を通して得た専門的知識を活かし、実習に取り組むことにより、教育者としての資質の向上を図る。	(1) 小学校教育に関わる教員の活動について理解する。 (2) 授業およびその他の活動中に、現職教員の援助を受けながら、適切に子どもを指導することができる。 (3) 実践を通して得た様々な情報を踏まえて、自身の課題を設定することができる。 (4) 小学校教員を目指すものとして必要な、知識・技能、意欲・態度、問題解決能力等の指導力を身につける。		◎		○	◎			○	
26UEDM4803	教育実習事前事後指導(中)	4	教育実習を行う上で必要となる中学校教育全般にわたる基本的理解を図る。中学校教育に関わる実践的知識と教育実習の意義の理解を通して、教育者としての自覚を持ち実践的指導力の基礎を養う。事前指導では、講義を通して実習生として遵守すべき義務等や望ましい態度・技能を理解し、実習生として教育活動に参画する意識を高める。事後指導では、教育実習を振り返り、教職への認識を確かなものとするとともに、グループ・ディスカッションなど具体的な活動を通して今後さらに習得すべき知識・技能等を理解する。	(1) 中学校教育に関わる教員の活動と、教育実習の意義について理解する。 (2) 理論の理解を通して得た様々な情報を踏まえて、自身の課題を設定することができる。 (3) 学校教育全般に関する基本的な知識を理解する。 (4) 教職と自己に対する認識を深める。 (5) 中学校教諭としての自覚を高め、態度・技能を修得する。		◎		○	◎			○	
26UEDM4804	教育実習(中)	4	中学校教育に関わる実習という体験的活動を通して、教育者としての愛情と使命感を深め、自覚を持ち、実践的指導力の基礎を習得する。教育実習は教職課程の総合的、実践的意義を持つ教育体験の場である。講義で得た専門的知識を各教科や教科外活動の指導場面で実践することにより、教育者としての資質の向上を図る。中学校の教育活動の場に臨み、生徒と直接ふれ合い、指導教員の指導を受けながら教育者に求められる基礎的な知識、技能、態度を習得する。	(1) 中学校教育に関わる教員の活動について理解する。 (2) 授業およびその他の活動中に、現職教員の援助を受けながら、適切に子どもを指導することができる。 (3) 実践を通して得た様々な情報を踏まえて、自身の課題を設定することができる。 (4) 中学校教員を目指すものとして必要な、知識・技能、意欲・態度、問題解決能力等の指導力を身につける。		◎		○	◎			○	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きること”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢			行動			
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDM4805	教職実践演習	4	立学の上に立脚した教職実践力を支える人格を陶冶する。また、教職課程科目の全履修履歴や様々な学外活動とその振り返りを通して、教員として必要な資質能力が実践力としてどの程度有機的に統合され形成されているかを最終的に確認する。さらに、実践的課題を把握し改善に努める意識を高め、主体的に探求する力量を形成する。	(1) 教員としての実践力について、これまでの修得状況を総合的に自己診断し、自らの実践的課題を把握し、その実践的課題を自覚している。 (2) 教員としての使命感・責任感・教育的愛情を具体的に修得している。 (3) 教員および社会人として、具体的実践場面でその社会性・対人関係能力を発揮できる。 (4) 教員として児童・生徒を人間的に理解し、その理解に基づく生徒指導力と学級経営力を具体的に構想し、実践できる。 (5) 教科を教授するに足る教科専門学力を確実に修得し、この教科専門学力に基づく当該教科内容を授業やその他の教育場面において適切に指導できる。		◎		◎	○				○

令和8年度入学生用カリキュラムマップ

【教育学科】

【乳幼児教育コース】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な・複雑化する社会を理解する力	2. “生きながらえる”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢		行動				
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDB1001	初期演習 I	1	本学で修得すべきことは何かを理解し、自主的に学び新たな発見を導きだせる力を身につけることを目的とする。このため、本学の「立学の精神」および人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」を知り、本学学生としての誇りと自覚を持つ。さらに、MUKOGAWA COMPASSに掲げられた「自ら考え、動く」ための力を培い、女性として有為な社会人となるために、それぞれの学部学科の専門性に基づく知識と社会人基礎力の修得の必要性を理解し、各自のキャリアデザインを自ら構築する。	大学の修学の基礎となる単位制を理解し、適切な履修計画に沿って修学する主体性、考える力を身につけ、人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」と所属学科の3つのポリシーに基づく専門教育の概要を把握し、自らのキャリアデザインを組み立てる力を身につける。また、良識ある社会人となるための社会人基礎力の必要性を理解し、その基盤となる十分なコミュニケーション能力を培い、基本的な社会ルールを理解し、本学学生としての誇りと自覚を身につける。さらに、学習・研究を進める上での倫理の基礎となる情報の取り扱いに関する知識を身につける。	◎		○		○				○
26UEDB1002	初期演習 II	1	「初期演習 I」で学んだことを踏まえて、2年次以降の専門領域の学習のための準備として、大学での学び方を演習形式で実践することにより研究のための基礎・基本を身につける。	(1) 教育学・保育学に関する問題について、文献の正確な読み方および課題発見、資料検索、データ収集の方法について理解する。 (2) 収集したデータの分類整理、論理的な言説の展開、説得力のある提示や発表のしかたなどを行うことができる。			○			◎		◎	
26UEDB1003	日本国憲法	1	教職を目指す人の基礎的な素養として、日本国憲法の基本的な理念とその表現である主な条文について理解を深める。	(1) 憲法と法律の違いを説明できる。 (2) 日本国憲法についての基本的知識をもつ。 (3) 社会の諸事象を日本国憲法に照らして考えることができる。	◎		○						
26UEDB1004	英語 I	1	中学校外国語科（英語）の指導に対応するだけでなく、広く社会で英語が使われることに鑑み、英語の4つの技能（話す、聞く、書く、読む）を有機的に関連づけて、発音や文法も含めた総合的英語運用能力を身につける。	(1) 基礎的な文法事項を再確認して、話したり書いたり読んだりするときに活用できる。 (2) 基礎的な語彙を確認しながら、英文の内容を正しく読み取ることができる。 (3) 日常会話のレベルで英語を聞いて理解し、正しい発音で受け答えができる。	◎						○		
26UEDB1005	英語 II	1	中学校外国語科（英語）の指導に対応するだけでなく、広く社会で英語が使われることに鑑み、英語の4つの技能（話す、聞く、書く、読む）を有機的に関連づけて、英語の発声のしくみや文法も含めた総合的英語運用能力を高める。	(1) 話したり書いたり読んだりすることを正確な文法で行うことができる。 (2) 語彙を増やししながら、英文の内容を正しく読み取ることができる。 (3) 英語を聞いて理解し、受け答えや自分の意見を述べることができる。	◎						○		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）										
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きること”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力			
					知識		姿勢			行動					
		1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDB2006	外国語コミュニケーションⅠ	2	「英語Ⅰ・Ⅱ」で身につけた4技能の総合的な力を基礎にして、社会で使えるオーラル・コミュニケーション能力をさらに発展させる。また、多様な題材や教材を用いて、教育現場で使える英語を学習し、幼児・児童英語教育のための実践的英語能力を身につける。	(1) 日常的な話題について英語で会話することができる。 (2) 教室英語の様々な表現を学習する。 (3) 英語の発音、リズムやイントネーションに慣れる。	◎									○	
26UEDB2007	外国語コミュニケーションⅡ	2	「英語Ⅰ・Ⅱ」で身につけた4技能の総合的な力を基礎にして、社会で使えるオーラル・コミュニケーション能力をさらに発展させる。また、多様な題材や教材を用いて、教育現場で使える英語を学習し、幼児・児童英語教育のための実践的英語能力を身につける。	(1) 日常的な話題について英語でプレゼンテーションやディスカッションができるようになる。 (2) 教室英語表現を場面に応じて使えるようになる。 (3) 幼児・児童向けの英語の歌を歌ったり、物語を朗読したりできるようになる。	◎									○	
26UEDB1008	教育とICT	1	大学教育に適応し、安全で適切な情報活用ができるための基礎的な情報リテラシーを身につける。コンピュータやネットワークの知識、情報モラルの知識と実践力を育成するとともにオフィスソフトの活用をもとにしたレポート作成の基礎的な技能を確実に習得する。さらに、教員・保育士の仕事を援助する道具としてコンピュータを使いこなす能力と、教職に必要な情報教育についての高度な情報処理能力を獲得し、情報化社会に対応した教育を実践できる能力を育成する。	(1) 本学のシステムやオンラインサービスを知り、使いこなすことができる。 (2) 基礎的なコンピュータやネットワークに関する知識、情報モラルに関する知識を持ち、場面に応じて、安全にコンピュータやネットワークを活用することができる。 (3) レポートを作成するために必要なソフトの活用技能を習得し、課題に応じた簡単なレポート作成ができる。 (4) 教育・保育に利用できるマルチメディア技術を習得するとともに、教育・保育現場で必要な情報モラルの基本を身につける。	◎	○					○				
26UEDB1009	体育Ⅰ	1	体育・スポーツについての講義と体験的活動を通して、教育者・保育者に求められる健康と安全についての知識と技能を身につける。	(1) 安全対策の理論的背景について理解する。 (2) 水泳を安全に実践することができる。 (3) 教職に対応できる技能の習熟と安全で効果的な指導法を習得する。	◎									○	
26UEDB1010	体育Ⅱ	1	体育・スポーツについての体験的活動と講義を通して、教育者・保育者に求められる健康と安全についての知識と技能を身につける。	(1) 陸上運動とリズムダンスの理論的背景について理解する。 (2) 陸上運動とリズムダンスを安全に実践することができる。	◎									○	
26UEDK2001	基礎演習	2	「初期演習」での学習をふまえて、現代社会における教育に関する課題を主体的に見つけ、それらについて議論、検討し、得られた知見をプレゼンテーションやレポート発表によって表現する力量を形成する。それにより、教員・保育者として必要な、課題を発見し、解決する力、論理的に思考する力、創造的に表現する力を身につける。	(1) 子どもと教育に関して、グループでテーマを設定して調査し、まとめ、プレゼンテーションを行うことができる。 (2) 子どもと教育の問題に関して、データの収集、整理、分析を通して新しい知見を生み出し、それをレポートにまとめることができる。		○			○			○		◎	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きづらさ”を克服する力	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢		行動				
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDK3002	教育演習	3	「卒業研究」につながる科目である。少人数の演習形式の授業を通して、教育・保育に対する深い理解と、論文を作成するなどの教育・保育に必要な技能、ディスカッションする力、教育・保育に関する課題を自ら探究する力を身につける。また、担当者によっては、専門的なスキルの習得とプレゼンテーション能力を重視する。	(1) 次年度に卒業研究に取り組むために必要な様々な知識とスキルを身につける。 (2) 教育・保育に関する問題を深く考え、他の人と議論し、論理的な結論を導き出すことができる。 (3) 身につけたスキルをもとに、説得力あるプレゼンテーションができる。		○	◎	○	◎			○	
26UEDK4003	卒業研究	4	自分で選択したテーマについての理解を深めるとともに、論文の形にまとめていく。教育演習で身につけた、教育・保育に関する課題を自ら探究する力を一層高める。また、担当者によっては、作品公開や技能実演を行う。	(1) 研究に必要な幅広く深い知識と、研究を進めるためのスキルを身につける。 (2) 教育・保育に関する多様な考えを批判的に理解し、自分の見解をもつことができる。 (3) 身につけたスキルをもとに、説得力あるプレゼンテーションができる。		○			◎	○	◎		
26UEDK2101	教育原理	2	教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育および学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたかを理解する。また、教育実践に関わる基礎理論と実際の取り組みを学び、現代教育の抱えている課題を理解する。	(1) 教育という営みの基本的概念、および教育を成り立たせる諸要因とそれら相互の関係を理解している。 (2) 教育の歴史に関する基礎的知識を身につけ、それらと多様な教育の理念との関わりや過去から現代に至るまでの教育および学校の変遷を理解している。 (3) 教育に関する様々な思想、それらと多様な教育の理念や実際の教育および学校との関わりを理解している。		◎	○						
26UEDK2102	保育原理	2	保育所などで行われる集団保育の基礎・基本を理解する。すなわち、乳幼児の保育はいかにあるべきか、乳幼児の豊かな発達をいかに保障するか、保育士の役割は何かなど保育の原理を学ぶ。あわせて、保育の歴史や今日の課題についても学ぶ。	(1) 保育の意義および保育所などの保育施設の役割について理解する。 (2) 保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領などにおける保育の基本を理解する。 (3) 保育内容、保育方法について理解する。 (4) 保育の思想および歴史の変遷について理解する。 (5) 保育の現状と課題について理解する。		◎	○						
26UEDK1103	教職入門	1	現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について身につけ、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職のあり方を理解する。	(1) 現代社会における教職の意義や、子どもの成長発達に関わる教員の役割を理解している。 (2) チーム学校のあり方などの実際の学校現場の様子や、授業をはじめとする教員の仕事、現代教育の課題を理解している。 (3) 子ども期の体験の意味を捉える視点を持ち、子どもの体験に向きあう姿勢を備えている。 (4) 教職に就くための高い意欲と課題意識を持ち、教育に携わる責任を自覚している。		◎	○		○				○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な文化・複雑化する社会を理解する力	2. “生きつながる”に門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢		行動				
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDK3109	教育哲学	3	「教育哲学」を組み入れる歴史的社会的文脈を学ぶ。さらに「子どもの発達」や「子どもへの教育」を、大人や老人を含めた「ライフサイクル」の全体、そしてライフサイクルの各段階での異なった世代どうしの「相互生成」から見直すことによって、「教育」を根本から考え直す。	(1)「教育哲学」を組み入れる歴史的社会的文脈を理解する。 (2)さらに「子どもの発達」や「子どもへの教育」を、大人や老人を含めた「ライフサイクル」の全体、そしてライフサイクルの各段階での異なった世代どうしの「相互生成」から見直すことによって、「教育」を根本から考えることができる。		◎	○		○				
26UEDK2110	教育行政学	2	教育・保育実践のために必要な基礎的素養として、教育行政の全般について基礎を理解する。その中では、一般行政と教育行政の違い、我が国の教育行政の仕組みとその基礎となる考え方、文部科学行政の権限とその範囲、地方教育行政を支える教育委員会の権限とその範囲、学校教育を支える施設・設備・教職員・教育内容・教科書等に関する行政の実際、学校以外で行われる生涯学習をめぐる行政の仕組みなどについて学ぶことを通して、教育・保育を担うための基礎的知識を身につける。さらに、学校と地域との連携に関する理解および学校安全への対応に関する基礎的知識も身につける。	(1) 公教育の原理および理念を理解している。 (2) 公教育制度を構成している教育関係法規を理解している。 (3) 教育制度を支える教育行政の理念と仕組みを理解している。 (4) 公教育の目的を実現するための学校経営の望むべき姿を理解している。 (5) 学校における教育活動の年間の流れと学校評価の基礎理論を含めたPDCAの重要性を理解している。 (6) 学級経営の仕組みと効果的な方法を理解している。 (7) 学校と地域との連携の意義や地域との協働の仕方について、取り組み事例を踏まえて理解している。 (8) 学校の管理下で起こる事件、事故および災害の実情を踏まえて、学校保健安全法に基づく、危機管理を含む学校安全の目的と具体的な取組を理解している。		◎	○						
26UEDK1201	共生社会論	1	多様な個人や社会集団がお互いを認め、尊重し合い、協働することにより、社会的諸課題を解決し、共生社会を構築するための理論と方法論を、諸外国や日本のこれまでの事例を参照しつつ学ぶ。共生社会の実現のためには、ジェンダー、民族、宗教、文化、障がいなどによる社会的排除を克服し、人々のインクルーシブで相互に寛容な関係性を築くことが必要であり、共生の価値観を共有することが不可欠である。授業では、そうした価値観の共有をどのように展望すればよいのかについてともに考える。	(1) 多様な他の個人や集団が相互に認め、尊重し合い、協働することにより、社会的諸課題を解決し、共生社会を構築するための理論と方法論について理解し、説明できる、および自分の考えを述べることができる。 (2) ジェンダー、民族、宗教、文化、障がいに関連する諸問題について理解し、説明できる、および自分の考えを述べることができる。			◎					○	
26UEDK1202	子ども家庭福祉	1	子どもとその家族の社会的背景やその変遷を学び、子どもの権利、関連する児童福祉の理念および知識の理解を深める。また、現代社会における子どもやその家庭に関わる課題についての理解を深め、子どもと家族への支援のあり方を考える。	(1) 現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史的変遷について理解する。 (2) 子どもの人権擁護について理解する。 (3) 子ども家庭福祉の制度や実施体系等について理解する。 (4) 子ども家庭福祉の現状と課題について理解する。 (5) 子ども家庭福祉の動向と展望について理解する。	○		◎		○				

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きつなげる専門性”	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢			行動			
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDK1203	国際教育論	1	世界で見られる様々な教育問題と日本の関わりについて学ぶ。特に、発展途上国における教育開発に対する国際教育協力和日本国内での国際教育協力、および学生による海外ボランティア活動が含まれる。	(1) 国際教育協力の理論を理解することができる。 (2) 国際教育協力における課題を様々な角度から把握し、その解決方法を考えることができる。 (3) 設定したテーマについて主体的に調査し、分析、発表することができる。		○	◎						○
26UEDK1204	社会調査法	1	教育に関する様々な情報を活用してそこから有用な情報を読み解くために、記述統計と初歩的な推測統計の技法を身につける。	(1) 社会事象、とりわけ教育に関する様々なデータを読み解くことができる。 (2) 社会事象、とりわけ教育に関するデータを収集し、わかりやすく表現することができる。 (3) 初歩的な推測統計を用いて、社会事象、とりわけ教育に関するデータを分析できる。						◎			
26UEDK2205	人権教育と福祉	2	現代社会の諸課題についての探究的活動を通して、初等教育に携わる教員としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 現代社会の諸課題に基づいた授業計画と立案することができる。 (2) 学習した内容を踏まえて、自分の意見を持つとともに、各自で工夫した活動を行うことができる。 (3) 小学校社会科における授業内容を通して、エネルギーや環境問題、貧困問題といった社会問題への関心を高めることができる。	○		◎						
26UEDK2206	異文化理解とコミュニケーション	2	教員として、地域や職場のグローバル化に対応し、様々な文化背景や価値観を持つ人々と良好なコミュニケーションを行うことのできる能力を養成する。外国にルーツのある子どもたちを支援する団体・小学校で実際に子どもたちを支援することにより現場での課題について学ぶ。	(1) 文化の違いによる言語・非言語コミュニケーションスタイルの多様性を理解している。 (2) 文化背景や価値観の異なる人々の考えに敬意を持って耳を傾けるとともに、自分の考えもきちんと主張できる技術を身につけている。 (3) 外国にルーツのある子どもたちの状況について概要を知った上で、学習支援等を行う中で異文化コミュニケーションの課題を見出し、解決へ向けて取り組むことができる。			◎			○			○
26UEDK2207	海外教育交流実践	2	教育学科アメリカ分校プログラムに参加する学生が、国際的な教育交流を自ら構成し、実践する。	(1) 国際的な教育交流の意義を理解し、説明できる。 (2) 日米の教育や子どもたちの違いを学び、想像し、考えることができる。 (3) これらを踏まえて国際的な教育交流を構成し、実践する。				◎	○				○
26UEDK2208	海外教育参加実習指導	2	アメリカの教育現場を観察するために必要な視点を学び、コミュニケーション能力を身につける。	(1) 留学に対する確たる目的意識を持つ。 (2) アメリカの教育現場を観察するための視点を持つ。				◎					○
26UEDK2209	海外教育参加実習	2	アメリカの教育現場を観察することによって、アメリカの教育制度、学校教育、教育文化を学ぶ。	(1) アメリカの教育の特徴を説明できる。 (2) 日米の教育を比較し、日本の教育について意見を持つ。 (3) アメリカの幼児・児童と英語でコミュニケーションがとれる。				◎					○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生き残る”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢		行動				
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDK2210	教育フィールドワーク	2	教育学の理論と教育現場等の実践知を関連させながら、教育現場等の活動を客観的に捉える基本的な能力を身につける。	(1) 専門教育科目の講義や演習で学んだ知識を踏まえて、教育現場の状況を解釈できる。 (2) 教育現場の観察と体験的活動を踏まえて、自身の課題を設定することができる。					○		◎	○	
26UEDK3211	異文化間教育	3	教育・保育の実践のための基礎的な素養として、主として外国で行われる教育や国境や文化をまたいで学ぶ子どもたちに目を向け、異文化間教育の基本的な考え方やその実際について学ぶ。その中で、世界の主要国における社会の形成過程や現状について知り、そこで行われる学校教育がどのような社会の現実に対応し、課題に取り組んできたのかを知る。	(1) 世界の国・地域で、それぞれの社会や文化を背景として形作られる教育の現状と課題を理解することができる。 (2) 国境や文化を超えて学ぶ子どもたちについて知り、必要な支援について考え、説明することができる。 (3) 設定したテーマについて主体的に調査し、分析、発表することができる。		○	◎		○				○
26UEDK2301	教育課程・保育計画論	2	教育目標に示されている人格の完成の実現に向けて、子どもの心身の成長・発達に応じた保育・教育を行うために、保育・教育課程についての意義や編成についての理論を理解する。	(1) 教育課程や保育の計画の役割や機能を把握するとともに、それまでの変遷やその時代の社会的背景や要請について理解している。 (2) 教育課程や保育の計画を編成するときの観点や方法などについて理解している。 (3) 編成の背景となる子どもの心身の成長・発達や社会的状況等について理解している。 (4) 教育課程や保育の計画を省察し、評価および省察と改善（カリキュラム・マネジメント）についての意義や重要性を理解している。			◎			○			
26UEDK2302	教育課程論	2	教育課程の意義・編成・実施・評価について知識と理解を得ることにより、教職を担うために必要とされる基礎的な素養を養う。また、教育課程の基準として定められている学習指導要領の変遷や、現行学習指導要領の特徴について学ぶとともに、各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。	(1) 現代日本の学校における教育課程について、それを支える考え方や法制、実際の編成・実施・評価の方法を、歴史と国際比較の二つの視点から説明できる。 (2) カリキュラムおよび教育課程という概念の成立と発展について理解している。 (3) 我が国の教育課程をめぐる制度について歴史的に概観できる。 (4) 現在の教育課程の基準（学習指導要領など）とそれに基づくカリキュラム・マネジメントの意義や重要性を理解している。 (5) カリキュラム評価の基礎的な考え方を理解している。			◎			○			

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）							
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目							
					1. 多様化・複雑化する社会を理解する力	2. “生き残る”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力
					知識		姿勢		行動			
1	2	3	4	5	6	7	8					
26UEDK2303	教育方法の理論と実践	2	<p>1. これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法および教育の技術に関する基礎的な知識・技能を身につける。</p> <p>2. 情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進のあり方および児童生徒に情報活用能力を育成するための指導法に関する基礎的な知識・技能を身につける。</p>	<p>(1) 授業設計や学習評価の基礎的な考え方を含む、教育方法の基礎的な理論と実践を理解し、これからの子どもたちに求められる資質・能力の育成に資する教育方法や、授業や保育を構成する基礎的な要件について理解している。</p> <p>(2) 基本的な授業技術を習得し、学習指導案を作成することができる。</p> <p>(3) 個別最適な学び、協働的な学びの実現や主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の観点および特別支援の観点から、学校教育におけるICTの活用の意義とあり方を理解する。</p> <p>(4) 情報機器の操作スキルを含む教科等横断的な情報活用能力の育成や、各教科等の指導におけるICT活用についての理論と方法を身につける。</p> <p>(5) 教育データを活用した学習指導や学習評価、遠隔・オンライン教育についての理論と方法およびそれらに必要な機器操作を身につける。</p> <p>(6) 校務におけるICTの活用や、学校教育におけるICTの活用を支える環境整備、外部人材・外部機関との連携、教育情報セキュリティの重要性について理解する。</p>		◎		○		○		
26UEDK2304	子ども理解と幼児教育	2	<p>保育者にとって不可欠な、幼児を理解する力を持つことの重要性を知り、意欲と熱意を持って保育者に必要な知識や技能を学ぶ姿勢を身につける。保育者としての幅広い教養とともに自分の得意分野を見つけ、幼児の「生きる力」の基礎を培える基礎的な力を身につける。</p>	<p>(1) 幼児を理解することが教育・保育に大きな関わりを持つことを理解する。</p> <p>(2) 保育者にとって必要な幅広い教養的知識を得る。</p> <p>(3) 自分の得意分野や強みを自覚し、それを高めていくことができる。</p>		◎	○					
26UEDK3305	教育相談の理論と実践	3	<p>子どもの発達に関する心理学知識をもとに、幼児児童生徒の発達の状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的な知識（カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的な知識を含む）および技術を身につける。</p>	<p>(1) 学校園における教育相談の意義とそれに関わる心理学の基礎的な理論・概念を理解している。</p> <p>(2) 教育相談を進める際に必要な基礎的な知識（カウンセリングに関する基礎的な事柄を含む）を理解している。</p> <p>(3) 教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取組みや連携の必要性を理解している。</p> <p>(4) いじめ、不登校・不登園、虐待、非行等の課題に対する、幼児、児童および生徒の発達段階や発達課題に応じた教育相談の進め方を理解している。</p> <p>(5) 教育相談の計画の作成や必要な校内体制の整備など、組織的な取組みの必要性および地域の医療・福祉・心理等の専門機関との連携の意義や必要性を理解している。</p>		○	○		◎			
26UEDK4306	クラス経営論	4	<p>望ましい保育実践を行うとともに、担任としての役割を理解して、論理的な思考と、理性的な判断ができる保育者を目指す。</p>	<p>具体的実践例をもとに、保育者としてクラス経営の方法や、保護者対応も含めあらゆる事象への対応力・責任ある態度等を問い直していく力を身につける。</p>		◎	○		○			

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生き残る”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢		行動				
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDK1307	特別支援教育総論	1	特別支援教育の実践に必要な基礎として、障害のある子どもの心身の発達、およびその発達に即した教育の必要性と手法について学ぶ。	(1) 障害のある子どもの心身の発達を知る。 (2) 特別支援教育の実践に必要な基礎を学ぶ。 (3) 障害のある子どもに即した教育の必要性と手法を学ぶ。		○	◎		○				
26UEDK3308	データリテラシーと教育	3	データを読み解き、そこからの有用な情報を取り出す能力は、情報技術が高度に発達し、グローバル化した現代社会では、必須ともいえる素養である。データ分析の有効性と留意点を踏まえた上で、教員として、自らデータを構成し、そこから豊かな知見を適切に導く知識を、コンピュータを用いて実践的に学ぶ。	(1) 教員として、教育におけるデータを目的に応じた収集、分析、活用する力を身につける。 (2) 学習指導や授業設計など、教育活動にAIやデータを活用する力を身につける。		○				◎			
26UEDK1309	器 楽 基 礎 I	1	読譜力とリズム感の涵養およびピアノの演奏技術の基礎練習を通して、初等教育に携わる教員・保育者としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 基礎的な読譜をするための知識を理解する。 (2) 初歩的なピアノ曲の演奏ができる。			◎		○				
26UEDK3310	器 楽 基 礎 II	3	弾き歌いの体験的・探究的活動を通して、初等教育に携わる教員・保育者としての資質・能力の向上を図る。	(1) 童謡や唱歌の弾き歌いおよび伴奏のレパートリーを増やす。 (2) 学習した内容を踏まえて、自分の意見を持つとともに、各自で工夫した演奏を伴う活動を行うことができる。			◎		○	○			
26UEDK1311	日 本 語 文 法	1	中学校国語科において教授する口語文法についての研究を進めながら、生徒への指導法について学習する。	(1) 日本語の口語文法の基礎的知識を習得している。 (2) 中学生が日本語文法を学ぶための教材や教具を工夫できる。 (3) 現代語の文法の様相について考え、文法学習の置かれている現状について理解している。 (4) 口語文法との違いを中心に文語文法を理解している。	◎	○				○			
26UEDK1312	英 語 文 学 入 門	1	英語で書かれた文学を学ぶ中で、英語による表現力への理解を深めるとともに、英語が使われている国・地域の文化について学ぶ。中学校における外国語科の授業に生かすため、英米を中心とした英語圏の文学の諸相を概観し、文学とその背景にある文化・社会との関係性を理解する。	(1) 文学作品において使用されている様々な英語表現について理解している。 (2) 文学作品で描かれている、英語が使われている国・地域の文化について理解している。 (3) 英語で書かれた代表的な文学について基本的な知識を習得している。	◎	○							
26UEDK4313	保 育 英 語	4	子どもたちが楽しみながら英語に親しみ、英語らしい発音や簡単なコミュニケーション、異文化理解の基礎を養うことを目指す。	(1) 遊びや歌、絵本などを通じて、英語の基本的な音やリズムに親しむ指導ができるようになる。 (2) 日常の簡単な英語表現を用いて、保育現場で役立つコミュニケーション力を養う。 (3) 異文化に対する理解を深めるための活動設計ができる。	○	◎							○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きつなげる” 専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢			行動			
		1	2	3	4	5	6	7	8				
26UEDK2409	保育内容・健康	2	幼稚園教育要領に示された領域「健康」のねらいおよび内容について理解を深め、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。 学習内容は、(1) 生活習慣や災害時の安全に関する指導について、具体例やICTを活用しながら理解すること、(2) 幼児期の運動発達に沿った運動指導の留意点と教員の役割を具体的に考えること、(3) 遊びや生活の場面において動きを引き出す環境を構成することを学ぶこと、(4) 幼児の健康に関わる現代的課題や保育実践について、教員の援助や環境の構成について考えること、(5) 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」のうち、「健康な心と体」「自立心」「協同性」「道徳性・規範意識の芽生え」などを取り上げ、具体的な事例を基に考えること、(6) 模擬保育では、ICTを活用し振り返ること、(7) 小学校の各教科等とのつながりを理解することである。領域「健康」は、「健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う」ことを目指すものである。幼稚園教育や保育所保育等において育みたい資質能力について理解し、幼稚園教育要領や保育所保育指針等に示された領域「健康」のねらいおよび内容について、背景にある専門領域と関連させて理解を深め、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。	(1) 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本や保育所保育指針に示された保育の基本等を踏まえ、領域「健康」のねらいおよび内容を理解している。 (2) 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「健康」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につける。		◎							
26UEDK2410	保育内容・環境	2	領域「環境」は、「周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持って関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う」ことを目指すものである。幼稚園教育や保育所保育等において育みたい資質能力について理解し、幼稚園教育要領や保育所保育指針等に示された領域「環境」のねらいおよび内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深め、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて領域「環境」の具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。	(1) 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本や保育所保育指針に示された保育の基本等を踏まえ、領域「環境」のねらいおよび内容を理解している。 (2) 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「環境」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につける。		◎							
26UEDK3411	保育内容・人間関係	3	領域「人間関係」は、「他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う」ことを目指すものである。幼稚園教育や保育所保育等において育みたい資質能力について理解し、幼稚園教育要領や保育所保育指針等に示された領域「人間関係」のねらいおよび内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深め、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想し実践する方法を身につける。	(1) 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「人間関係」のねらいおよび内容を理解している。 (2) 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「人間関係」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につける。		◎	○						○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）							
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目							
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きながらえること”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力
					知識		姿勢		行動			
1	2	3	4	5	6	7	8					
26UEDK2412	保育内容・言葉	2	領域「言葉」は、「経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞くこととする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う」ことを目指すものである。幼稚園教育や保育所保育等において育みたい資質能力について理解し幼稚園教育要領や保育所保育指針等に示された領域「言葉」のねらいおよび内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深め、発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。	(1) 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本や保育所保育指針に示された保育の基本等を踏まえ、領域「言葉」のねらいおよび内容を理解している。 (2) 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「言葉」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につける。		◎			○	○		
26UEDK2413	保育内容・表現（音楽）	2	領域「表現」は、「感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする」ことを目指すものである。幼稚園教育や保育所保育等において育みたい資質能力を理解し、幼稚園教育要領や保育所保育指針等に示された領域「表現」のねらいおよび内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深め、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。	(1) 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本や保育所保育指針に示された保育の基本等を踏まえ、領域「表現」のねらいおよび内容を理解している。 (2) 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「表現」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につける。		◎		○			○	○
26UEDK2414	保育内容・表現（造形）	2	領域「表現」は、「感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする」ことを目指すものである。幼稚園教育や保育所保育等において育みたい資質能力を理解し、幼稚園教育要領や保育所保育指針等に示された領域「表現」のねらいおよび内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深め、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。	(1) 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育や保育所保育指針に示された保育の基本等の基本を踏まえ、領域「表現」のねらいおよび内容を理解している。 (2) 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「表現」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につける。		◎		○			○	○
26UEDK3415	保育内容・表現（身体）	3	領域「表現」は、「感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする」ことを目指すものである。幼稚園教育や保育所保育等において育みたい資質能力を理解し、幼稚園教育要領や保育所保育指針等に示された領域「表現」のねらいおよび内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深め、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。	(1) 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育や保育所保育指針に示された保育の基本等の基本を踏まえ、領域「表現」のねらいおよび内容を理解している。 (2) 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「表現」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につける。		◎		○			○	○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生き残る”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢			行動			
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDK2501	社会福祉	2	社会福祉の概念やその意義、社会福祉のサービス体系、現代家族の抱える生活課題について学び、支援の視点や留意点について理解を深める。さらに、親子の抱える問題解決に向けて必要な、保育者としての基本的知識を身につける。	(1) 現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷および社会福祉における子ども家庭支援の視点について理解する。 (2) 社会福祉の制度や実施体系等について理解する。 (3) 社会福祉における相談援助について理解する。 (4) 社会福祉における利用者の保護に関わる仕組みについて理解する。 (5) 社会福祉の動向と課題について理解する。		○	◎		○				
26UEDK3502	子ども家庭支援論	3	子育て家庭に対する支援の意義と必要性、目的と機能を理解する。子ども家庭支援の現状と課題について、子育て家庭に対する支援の体制や社会資源、具体的な施策について、また子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開について理解する。	(1) 子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解する。 (2) 保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について理解する。 (3) 子育て家庭に対する支援の体制について理解する。 (4) 子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解する。			◎	○		○			
26UEDK2503	社会的養護 I	2	社会的養護の歴史の変遷や現状、意義、制度について理解し、子どもの人権擁護や社会的養護を踏まえた「子ども観」を持つとともに、社会的養護を実践するために必要な、保育者としての基本的知識を身につける。	(1) 現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷について理解する。 (2) 子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解する。 (3) 社会的養護の制度や実施体系等について理解する。 (4) 社会的養護の対象や形態、関係する専門職等について理解する。 (5) 社会的養護の現状と課題について理解する。			◎	○		○			
26UEDK2504	子ども家庭支援の心理学	2	生涯発達に関する心理学の基礎的な知識をもとに、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。また、家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について、発達的な観点から理解する。さらに、子育ての経験における親としての育ちを含めて、子どもとその家庭を包括的に捉え支援するという技能を身につける。	(1) 初期経験の重要性と発達課題について理解する。 (2) 親子関係・家族関係を発達的に捉える知識を身につける。 (3) 親としての育ちをライフコースの中で理解し、子育て家庭と親を支援する技能を身につける。 (4) 子どもの精神保健とその課題、特別な配慮を要する家庭の課題についても理解し、支援する技能を身につける。			◎	○					
26UEDK3505	子どもの保健	3	子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義や目的について理解する。また、現代社会における子どもの健康に関する現状や課題を知り、子どもの発育発達や安全管理、疾病予防等を踏まえた保健活動のあり方について理解を深める。	(1) 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。 (2) 子どもの身体的な発育・発達と保健について理解する。 (3) 子どもの心身の健康状態とその把握の方法について理解する。 (4) 子どもの疾病とその予防法および他職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解する。			◎	○					

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きること”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢			行動			
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDK3506	子どもの食と栄養	3	健康における食生活の意義や栄養に関する基本的知識を理解し、子どもの年齢や発育・発達過程を踏まえた食生活のあり方、食生活に特別な配慮を有する子どもへの対応について学ぶ。また、保育における食育の意義や目的について理解し、食育実践を行うために必要な、保育者としての基本的知識を身につける。	(1) 健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を習得する。 (2) 子どもの発育・発達と食生活の関連について理解する。 (3) 養護および教育の一体性を踏まえた保育における食育の意義・目的、基本的考え方、その内容等について理解する。 (4) 家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について理解する。 (5) 関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ、特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する。		◎	○						
26UEDK2507	乳児保育 I	2	3歳未満児を対象とする乳児保育について、その歴史の変遷、意義や役割等について学ぶ。また、乳児保育のねらいや内容について学び、子どもの発育発達や各種の連携を踏まえた乳児保育のあり方について理解を深める。	(1) 乳児保育の意義・目的と歴史の変遷および役割等について理解する。 (2) 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。 (3) 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。 (4) 乳児保育における職員間の連携・協働および保護者や地域の関係機関との連携について理解する。		◎	○						
26UEDK3508	乳児保育 II	3	3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法および環境について、また乳児保育における配慮の実践について、具体的に理解する。これらを踏まえ、乳児保育における計画の作成について、長期的な指導計画と短期的な指導計画、個別的な指導計画と集団的な指導計画を実際に作成し、乳児保育を担う保育者としての実践力を身につける。	(1) 3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの方針について理解する。 (2) 養護および教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法および環境について、具体的に理解する。 (3) 乳児保育における配慮の実践について、具体的に理解する。 (4) (1)～(3)を踏まえ、乳児保育における計画の作成について、具体的に理解する。		◎	○						

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）									
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きつなげる専門性”に尊重する姿勢	3. 自他を恐れず挑戦する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力		
					知識		姿勢			行動				
1	2	3	4	5	6	7	8							
26UEDK3509	子どもの健康と安全	3	保育における保健的観点（アレルギーや感染症、事故等に関する各種ガイドラインやデータ等）を踏まえ、保育における衛生管理・事故防止および安全対策・危機管理・災害対策について理解する。また子どもの保健および安全にかかわる組織的取組や保健活動についても理解を深める。	(1) 保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。 (2) 関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ、保育における衛生管理・事故防止および安全対策・危機管理・災害対策について、具体的に理解する。 (3) 子どもの体調不良等に対する適切な対応について、具体的に理解する。 (4) 関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ、保育における感染症対策について、具体的に理解する。 (5) 保育における保健的対応の基本的な考え方を踏まえ、関連するガイドラインや近年のデータ等に基づく、子どもの発達や状態等に即した適切な対応について、具体的に理解する。 (6) 子どもの健康および安全の管理に関わる組織的取組や保健活動の計画および評価等について、具体的に理解する。		◎	○							
26UEDK3510	障害児保育	3	障害児保育の理念や概要、障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育の現状と課題について理解し、保育士に求められる障害児保育に必要な基本的姿勢や基本的知識、保育方法・技術、そして保護者支援などについて学ぶ。	(1) 障害児保育を支える理念や歴史的変遷について学び、障害児およびその保育について理解する。 (2) 個々の特性や心身の発達等に即した援助や配慮について理解する。 (3) 障害児やその他の特別な配慮を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について理解する。 (4) 障害児その他の特別な配慮を要する子どもの家庭への支援や関係機関との連携・協議について理解する。 (5) 障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育に関する現状と課題について理解する。		○	◎		○					
26UEDK2511	社会的養護 II	2	社会的養護における子どもの権利擁護と保育士等の倫理責務について、施設や里親養護など様々な事例を通して具体的に学ぶとともに、支援計画を作成し、事例分析を通して理解を深める。	(1) 子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容について具体的に理解する。 (2) 施設養護および家庭養護の実際について理解する。 (3) 社会的養護における計画・記録・自己評価の実際について理解する。 (4) 社会的養護に関わる相談援助の方法・技術について理解する。 (5) 社会的養護における子どもの虐待の防止と家庭支援について理解する。		◎	○		○					
26UEDK3512	子育て支援	3	保護者との信頼関係を形成し、保護者や家庭の抱える支援のニーズに気付き理解し、実際に支援ができる保育士を目指して、相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の多様な支援のあり方を具体的に理解する。	(1) 保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援（保育相談支援）について、その特性と展開を具体的に理解する。 (2) 保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法および技術を、実践事例等を通して具体的に理解する。		◎	○		○					

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きつなげる専門性”	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢			行動			
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDK2606	Classroom English	2	In this class, students learn the principles of language learning and identify the characteristics of successful language learners. Students also design and present language learning activities for children.	(1) To understand the significance and current status of elementary school foreign language education in Japan. (2) To acquire the practical English language skills necessary for teaching foreign language activities and classes in elementary schools. (3) To acquire the background knowledge necessary to teach foreign language classes in elementary schools, taking into consideration the connection between elementary and junior high schools.		◎							○
26UEDK2607	Multicultural Communication	2	As elementary and kindergarten teachers, the objective of this course is to develop the ability to communicate well with people of various cultural backgrounds and values in response to the globalization of the community and workplace.	<ul style="list-style-type: none"> ● Deepen understanding of intercultural communication ● Discuss ideas and observations about American culture ● Speak to other Spokane area students 			◎			○			
26UEDK2608	Art	2	To develop knowledge, skills, and expression techniques related to teaching artistic expression to young children, focusing on children’s development, creativity, and sensory awareness. It aims to help educators enrich children’s artistic play and create supportive environments.	Understand children’s artistic expression and their developmental stages. Develop sensory awareness and foundational skills in artistic expression, supporting children’s creativity.				○				◎	
26UEDK3701	教育実習事前事後指導I（幼）	3	教育実習の意義を自覚し教育実習に臨めるようにするための基礎的・予備知識や技能の習得を目指すとともに、事前学習と実習園での実体験を結合させる。また、実習後の振り返りを行いつつ、教職への認識を確かなものとする。	(1) 教育実習に備えて、実習についての知識、技能、心構えを習得する。 (2) 保育指導案の作成、教育実習記録の記入方法を学び、ポイントを定め、まとめられるようになる。 (3) 実習体験報告交換会等の中で、進んで自己課題を発表し、他者と学びを深め合えるようになる。		◎	○	◎					○
26UEDK3702	教育実習 I（幼）	3	幼稚園での教育実践を体験することで、大学の授業で学習した理論・方法を活用しながら、幼稚園教諭を目指すものとして必要な保育観・知識・技能・態度などを学び、指導力をつける。	(1) 教育実習体験の中で指導法の実践を学び、保育実践を通して自己課題を持つ。 (2) 幼児理解の方法を保育実践を通して学び、日々の保育に展開できる力を身につける。 (3) すべての園内業務を理解し、保育環境の重要なことを知り、実務実習を進んで行う。		◎	○	◎					○
26UEDK4703	保育・教職実践演習	4	保育・幼児教育の担い手としての生活をより円滑にスタートできるよう、保育者になる上で必要な資質能力についての自己の課題を自覚し、不足している知識や技能等を必要に応じて補い、その定着を図る。	(1) 保育者として、使命感・責任感・教育保育的愛情等を有している。 (2) 社会性や対人関係能力を有している。 (3) 子どもを理解し、学級経営等を行うことができる。 (4) 保育内容等を豊かに開発し、これを保育実践に計画的に生かしつつ指導することができる。		◎	◎	○					○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きること”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢			行動			
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDK2801	保育実習指導 I A	2	保育所と施設での現場実習を円滑に実施し、学びを深めるために必要な基礎的な知識、技術、および姿勢・態度を理解し、習得する。	(1) 保育実習の意義と目的を理解する。 (2) 保育実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。 (3) 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法・内容について具体的に理解する。 (4) 保育士の倫理について理解する。 (5) 実習生としての心構え、社会人としてのマナーを理解し、習得する。		◎	○		○				○
26UEDK3802	保育実習指導 I B	3	「保育実習指導 I A」や既習科目も踏まえて、保育所と施設での現場実習を円滑に実施し、学びを深めるために必要な基礎的な知識、技術、および姿勢・態度を理解し、習得する。	(1) 保育実習の意義と目的を理解する。 (2) 保育実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。 (3) 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法・内容について具体的に理解し、習得に努める。 (4) 保育士の倫理について理解する。 (5) 保育実習後の課題把握の契機をつくり、学習目標を明確にする。 (6) 実習生としての心構え、社会人としてのマナーを理解し、習得する。		◎	○		○				○
26UEDK3803	保育実習 I（保育所）	3	保育所の見学・観察、子どもの生活や遊びへの参加を通して、乳幼児の発達、保育士の職務内容や職業倫理、保育所の役割や機能について具体的に理解する。それによって、保育士として必要な価値・倫理、知識、技術の基礎を修得する。	(1) 保育所の役割や機能を具体的に理解する。 (2) 観察や関わりを通して、子どもへの理解を深める。 (3) 保育および保護者支援について具体的、総合的に学ぶ。 (4) 保育の計画、観察、記録および自己評価等について具体的に理解する。 (5) 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。		◎	○		○				○
26UEDK3804	保育実習 I（施設）	3	保育所以外の児童福祉施設の見学・観察、生活などへの参加を通して、児童福祉施設などの役割と機能、保育士の職務、児童や成人の発達、保育・養護や援助の方法について理解する。それによって、保育士として必要な価値・倫理、知識、技術の基礎を修得する。	(1) 児童福祉施設などの役割や機能を具体的に理解する。 (2) 観察や関わりを通して児童や成人への理解を深める。 (3) 保育や養護、支援、および保護者支援について具体的、総合的に学ぶ。 (4) 保育や養護、支援の計画、観察、記録および自己評価等について具体的に理解する。 (5) 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。		◎	○		○				○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）									
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きること”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力		
					知識		姿勢			行動				
		1	2	3	4	5	6	7	8					
26UEDK4805	保育実習指導Ⅱ	4	「保育実習Ⅰ」での実習経験および既習教科の内容との関連を踏まえ、2度目の保育所実習を円滑に実施し、より実践的で、かつ、よりよい保育の展開のための総合的な学びを深めるために必要な知識、技術、および姿勢・態度を理解し、習得する。	(1) 保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に学ぶ。 (2) 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法・内容に対する具体的理解を深め、習得に努める。 (3) 自らの実習の目標を明確化する。 (4) 保育士の専門性と職業倫理の理解を深める。 (5) 実習生としての心構え、社会人としてのマナーに対する理解を深め、習得する。 (6) 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。		◎	○		○					○
26UEDK4806	保育実習Ⅱ	4	保育所における参与観察や指導計画の立案と実施などを通して、「保育実習Ⅰ」の学びを深化させると同時に、乳幼児の発達、保育士の職務内容や職業倫理、保育所の役割や機能に対する理解を深める。それらによって、保育士に求められる価値・倫理、知識、技術を修得を目指すとともに、自己の課題を明確にする。	(1) 保育所の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深める。 (2) 子どもの観察や関わり視点の視点を明確にすることを通して保育の理解を深める。 (3) 既習の教科や「保育実習Ⅰ」の経験を踏まえ、保育および保護者支援について総合的に学ぶ。 (4) 保育の計画、実践、観察、記録および自己評価等について実際に取り組み、理解を深める。 (5) 保育士の業務内容、専門性および職業倫理について具体的実践に結びつけて理解する。 (6) 保育士としての自己の課題を明確にする。		◎	○		○					○
26UEDK4807	保育実習指導Ⅲ	4	「保育実習Ⅰ」での実習経験および既習教科の内容との関連を踏まえ、保育所以外の児童福祉施設などでの実習を円滑に実施し、より実践的で、かつ、よりよい保育の展開のための総合的な学びを深めるために必要な知識、技術、および姿勢・態度を理解し、習得する。	(1) 保育実習の意義と目的を理解し、保育・養護について総合的に学ぶ。 (2) 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法・内容に対する具体的理解を深め、習得に努める。 (3) 自らの実習の目標を明確化する。 (4) 保育士の専門性と職業倫理の理解を深める。 (5) 実習生としての心構え、社会人としてのマナーに対する理解を深め、習得する。 (6) 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。		◎	○		○					○
26UEDK4808	保育実習Ⅲ	4	保育所以外の児童福祉施設における参与観察や指導計画の立案と実施などを通して、「保育実習Ⅰ」の学びを深化させると同時に、児童の発達や特性および障害、保育士の職務内容や職業倫理、児童福祉施設の役割や機能に対する理解を深める。それらによって、保育士に求められる価値・倫理、知識、技術の修得を目指すとともに、自己の課題を明確にする。	(1) 保育所以外の児童福祉施設の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深める。 (2) 子どもの観察や関わり視点の視点を明確にすることを通して保育の理解を深める。 (3) 既習の教科や「保育実習Ⅰ」の経験を踏まえ、保育や養護、支援および保護者支援について総合的に学ぶ。 (4) 保育や養護、支援の計画、実践、観察、記録および自己評価等について実際に取り組み、理解を深める。 (5) 保育士の業務内容、専門性および職業倫理について具体的実践に結びつけて理解する。 (6) 保育士としての自己の課題を明確にする。		◎	○		○					○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）									
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					知識		姿勢			行動				
					1	2	3	4	5	6	7	8		
26UEDK1901	国語科内容論	1	国語表現の特徴の理解と国語表現の体験的活動を通して、初等教育に携わる教員としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 国語による表現の特質や技法について理解する。 (2) 目的に応じて的確に話したり文章に表現することができる。	○	◎								
26UEDK1902	算数科内容論	1	算数科の基礎的な概念の理解と数学的な思考活動を通して、初等教育に携わる教員としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 「数と計算」「測定」「図形」「変化と関係」「データの活用」の基礎的な知識について理解する。 (2) 「数と計算」「測定」「図形」「変化と関係」「データの活用」の内容の系統性を理解する。	○	◎								
26UEDK1903	外国語科内容論	1	小学校における外国語活動・外国語科の授業実践に必要な実践的な英語運用力と、英語に関する背景的な知識を身につける。	(1) 日本における小学校外国語教育の意義や現状を理解している。 (2) 小学校における外国語活動・外国語の授業を担当するために必要な実践的な英語運用力が身につけている。 (3) 小・中学校の接続も踏まえながら、小学校における外国語活動・外国語の授業を担当するために必要な背景的な知識が身につけている。		◎	○							
26UEDK1904	社会科内容論	1	社会科教育の内容の理解と時事問題の探究的活動を通して、初等教育に携わる教員としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 社会科の学習内容について理解する。 (2) 時事問題について基礎的な解説ができる。	○	◎								
26UEDK3905	理科内容論	3	小学校理科における領域「A物質・エネルギー」および「B生命・地球」の理論的内容の理解と実験等の体験的活動を通して、初等教育に携わる教員としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 「A物質・エネルギー」および「B生命・地球」領域の教材について理解する。 (2) 「A物質・エネルギー」および「B生命・地球」領域の実験や観察を行うことができる。		◎				○				
26UEDK3906	生活科内容論	3	「体験」の意義の理解と生活科学習の探究的活動を通して、初等教育に携わる教員としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 生活科の学習内容について理解する。 (2) 生活科の教材研究を行うことができる。		◎				○				
26UEDK2907	音楽科内容論	2	ソルフェージュ（リズム・音程関連）と音楽理論（楽典）の理解と歌唱の基礎的な技術や表現方法の練習を通して、初等教育に携わる教員・保育者としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 基礎的なソルフェージュと音楽理論の知識を理解する。 (2) 基本的な発声を行うことができる。 (3) 基本的な譜読みができる。		◎						○		
26UEDK2908	図画工作科内容論	2	児童・幼児の発達段階と造形表現の関連についての理解と造形表現の体験的活動を通して、初等教育に携わる教員・保育者としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 制作の道具の使用法や材料の特性について理解する。 (2) 課題制作において、テーマに沿った効果的な自己表現をすることができる。		◎						○		
26UEDK3909	家庭科内容論	3	家庭科教育の内容の理解と自己の生活の反省的活動を通して、初等教育に携わる教員としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 家庭科の教育・学習内容について理解する。 (2) 自分の家庭生活を見直し、問題点を改善することができる。		◎					○			
26UEDK3910	体育科内容論	3	運動の特性の理解と各種運動の体験的活動を通して、初等教育に携わる教員としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 各種運動の特性を理解している。 (2) 体育科の教材研究を行うことができる。		◎					○			

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生き残る”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢			行動			
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDK3911	国語科教育法	3	小学校国語科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における小学校国語科の目標、内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校国語科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して授業改善の視点を身につけている。		◎				○			◎
26UEDK3912	算数科教育法	3	小学校算数科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における小学校算数科の目標・内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校算数科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。		◎				○		◎	
26UEDK3913	外国語科教育法	3	小学校における外国語活動（中学年）・外国語（高学年）の教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における外国語活動および外国語科の目標・内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童期の第二言語習得の特徴について理解し、実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校における外国語活動および外国語科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。		◎				○		◎	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きつながる専門性”	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢			行動			
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDK3914	社会科学教育法	3	小学校社会科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における小学校社会科の目標・内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校社会科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。		◎				○			◎
26UEDK4915	理科教育法	4	小学校理科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における小学校理科の目標・内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校理科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。		◎				○			◎
26UEDK4916	生活科教育法	4	小学校生活科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における小学校生活科の目標・内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校生活科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。		◎				○			◎

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きながらえること”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢			行動			
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDK2917	音楽科教育法	2	小学校音楽科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における小学校音楽科の目標・内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校音楽科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。		◎				○			◎
26UEDK2918	図画工作科教育法	2	小学校図画工作科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における小学校図画工作科の目標・内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校図画工作科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。		◎				○			◎
26UEDK3919	家庭科教育法	3	小学校家庭科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における小学校家庭科の目標・内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校家庭科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。		◎				○			◎

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生き残る”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢			行動			
		1	2	3	4	5	6	7	8				
26UEDK4920	体育科教育法	4	小学校体育科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、基礎的な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1) 学習指導要領における小学校体育科の目標・内容および教育方法と評価について理解している。 (2) 背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できる。 (3) 児童の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 (4) 小学校体育科の特性に応じた情報機器および教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用できる。 (5) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成できる。 (6) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。		◎				○			◎
26UEDK3921	道徳教育の理論と実践	3	道徳教育と「特別の教科道徳」の重要性と特質を理解し、社会的課題や子どもたちの課題に向き合いながら、主体的・創造的に取り組むことができる力を身につける。	(1) 我が国における道徳教育の改革動向について、基礎的知識を有している。 (2) 「特別の教科道徳」の基本理念を理解し、小学校における道徳の授業方法について、他の活動領域と関連づけながら具体的に計画し、実践できる力を身につける。		○	◎		○				
26UEDK3922	総合的な学習の時間の指導法	3	総合的な学習の時間における横断的・総合的な学習や児童の興味・関心等に基づく学習など創意工夫を生かした教育活動の展開に必要な基礎的知識を学習し、総合的な学習の展開に必要な資質を身につける。	(1) 総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標および内容を定める際の考え方を理解している。 (2) 総合的な学習の時間の指導計画を立案することができる。 (3) 各教科等との関連性を図りながら総合的な学習の時間の年間指導計画を作成することの重要性を理解している。 (4) PBLの進め方を理解し、主体的・対話的で深い学びを実現するような、総合的な学習の時間の単元構成ができる。 (5) 総合的な学習の時間の指導と評価の考え方および実践上の留意点を理解している。		◎							◎
26UEDK3923	特別活動の指導法	3	学習指導要領に示された「特別活動」について、内容や、その趣旨、指導法について理解する。	(1) 学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事といった特別活動の各分野の意味づけを理解する。 (2) 実際の指導にどう生かしていくか、具体的に探究することができる。		◎	○		○				

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	学科ディプロマ・ポリシーの分類（項目）								
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きること”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識		姿勢			行動			
1	2	3	4	5	6	7	8						
26UEDK3924	生徒指導・進路指導の理論と実践	3	<p>1. 児童生徒の「生きる」力の育成を視点として、教員として必要とするこれからの学校における生徒指導・進路指導実践の理論と具体的な実践のあり方を学ぶ。</p> <p>2. 他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技術や素養を身につけるとともに、進路指導・キャリア教育の視点に立った授業改善や体験活動、評価改善の推進やガイダンスとカウンセリングの充実、それに向けた学校内外の組織的体制に必要な知識や素養を身につける。</p>	<p>(1) 生徒指導の意義や原理を理解している。</p> <p>(2) すべての児童生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方を理解している。</p> <p>(3) 児童生徒の抱える主な生徒指導上の課題の様態と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を理解している。</p> <p>(4) 進路指導・キャリア教育の意義や原理を理解している。</p> <p>(5) すべての児童生徒を対象とした進路指導・キャリア教育の考え方や指導のあり方を理解している。</p> <p>(6) 児童生徒が抱える個別の進路指導・キャリア教育上の課題に向き合う指導の考え方やあり方を理解している。</p>		○	◎		○				
26UEDK4925	教育実習事前事後指導Ⅱ（小）	4	<p>小学校教育に関わる実践的な知識と教育実習の意義の理解を通して、教員としての自覚を持ち、実践的指導力の基礎を養う。</p> <p>教育実習を行う上で必要となる学校教育全般にわたる基本的理解を図る。教育実習の意義、実習生としての望ましい態度・技能を習得し、教育者としての自覚を高める。</p>	<p>(1) 小学校教育に関わる教員の活動と、教育実習の意義について理解する。</p> <p>(2) 理論の理解を通して得た様々な情報を踏まえて、自身の課題を設定することができる。</p> <p>(3) 学校教育全般に関する基本的な知識を理解する。</p> <p>(4) 教職と自己に対する認識を深める。</p> <p>(5) 小学校教諭としての自覚を高め、態度・技能を修得する。</p>			◎		○	◎			
26UEDK4926	教育実習Ⅱ（小）	4	<p>小学校教育に関わる体験的活動を通して、教員としての自覚を持ち、実践的指導力の基礎を養う。</p> <p>教育実習が教職課程の総括的、実践的意義を持つ教育経験の場であることを鑑みて、講義を通して得た専門的知識を活かし、実習に取り組むことにより、教育者としての資質の向上を図る。</p>	<p>(1) 小学校教育に関わる教員の活動について理解する。</p> <p>(2) 授業およびその他の活動中に、現職教員の援助を受けながら、適切に子どもを指導することができる。</p> <p>(3) 実践を通して得た様々な情報を踏まえて、自身の課題を設定することができる。</p> <p>(4) 小学校教諭を目指すものとして必要な知識・技能、意欲・態度、問題解決能力等の指導力を身につける。</p>		◎		○	◎				